

# HITACHI



## 深剃りの早剃り。

### 20枚刃の爽快深剃り。 日立「ロータリーツイン」。

## 世界初\* ロータリーシェーバー RM-WX300

本体標準価格 **33,000円** 税別

- 1時間充電・交流式両用 ●AC100-240V
- デラックスソフトケース、スタンドつき

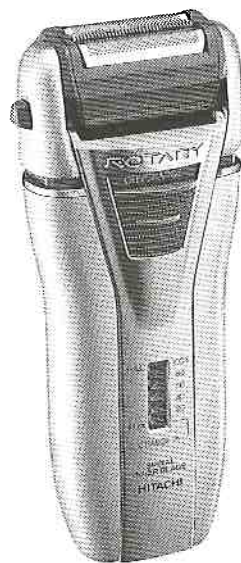
同時発売

**RM-WX200** 本体標準価格 **29,000円** 税別

- 1時間充電・交流式両用 ●AC100-240V

**RM-WX100** 本体標準価格 **23,000円** 税別

- 1時間充電・交流式両用 ●AC100-120V



●商品の価格には、配送・使用済み商品の引き取り等の費用、および、消費税は含まれておりません。●ご使用の際は、必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
●ご購入の際は、必ず「保証書」の記入事項をご確認のうえ、大切に保存してください。●特許50件、実用新案31件(平成8年6月現在、出願中を含む。) ※平成7年8月(当社調べ)

(株)日立製作所・九州日立マクセル(株)

新商品情報・商品選択など、家電品のお買物相談を承る窓口

☎0120-312111

お買物相談センター

# 荒川清美 氏

(元副会長)



## オリンピック・オーダー銀賞受賞

6月26日、東京・岸記念体育会館で行なわれたオリンピック記念デーで日本ハンドボール協会元副会長・荒川清美氏がオリンピック・オーダー銀賞を受賞、IOCサマランチ会長から指名されたIOC委員・猪谷千春氏の手で授与された。

受賞理由は、日本体育大学教授として教鞭をとりながら日本のハンドボールの発展に貢献、特に日本リーグの発足、日本ハンドボ-

ール協会の財団法人化を推進。1950年から日本協会理事、1967年理事長、1983年に副会長に就任した。JOCに関しては、1973年JOC委員、1989年監事、1991年かに名誉委員に就任している。

荒川氏以外には笹原正三氏（レスリング）、松平康隆氏（バレーボール）、鬼鞍弘起（アイスホッケー）が同時に表彰された。

### オリンピック・オーダーとは

1974年オリンピック憲章に制定され、受賞者は現存する個人に限られ、自らの個人的な実績によると、スポーツの発展への貢献を通じてとを問わず、自らの行動によってオリンピックの理想を立証した人、スポーツ界で顕著な功績を表した人あるいはオリンピックの目的のために優れた貢献を果たした人に贈られる。

## 社会を豊かに、 おもしろくするオムロン

街や家庭で。私たちは  
さまざまな場面での便利さや快適さを考え、  
豊かな未来を創造していきます。



# OMRON



オムロン株式会社

本社 〒600 京都市下京区烏丸通七条下ル

東京本社 〒105 東京都港区虎ノ門3-4-10

# 協会だより

## 6月度常務理事会

日時 6月8日(土)

場所 東京体育館 第4研修室

出席者 中澤専務理事、

常務理事8名、

参事1名、事務局3名

### 1、平成7年度事業報告(案)について

各担当常務理事より事業報告が取り承された。

### 2、平成7年度収支決算(案)について

収支決算について説明がなされた。オナー会議での大幅な登録金の改定による特別強化費が計上され、特別会計で選手強化に活用したことが述べられた。

特別会計について委託事業、単独事業、収益事業ごとに説明がなされた。

日本リーグ会計が単独事業として日本協会会計と一体化し、決算した。

スポーツ医学委員会は強化の傘下であることが確認された。

### 3、平成8年度第1次補正予算(案)について

一般会計について、全体的に前年度の実態に合わせ当初の予算で展開することで承認した。

特別会計について、委託基金の内示があり金額減少のため一般会計より繰り入れ事業予算(案)を補正することで承認した。

オナー会議特別強化資金の会計報告について、オナー会議財務担当に報告承認を得て、各オナーに書類で発送することで了承した。

平成8年度特別強化年間登録金の請求について、'97までオナー会議の了解事項であるため、オナー会議で諮問することなく請求することとした。

### 4、'97男子世界選手権関連事項

(1) IHFとの契約締結について、4月12日、IHF専務理事、会計局長と渡邊副会長との間で契約した。

(2) 日本協会執行体制について、世界選手権終了まで現執行体制で事業を推進するよう常務理事会で意見統一し全国理事会、評議委員会へ提案することとした。日本協会寄付行為に役員選出の具体的規定がないことから、寄付行為細則として成文化し役員選考委員会を設置することの提案があり了承した。役員選考委員会の枠組みを全国理事会に提案審議し、評議委員会です承を得ることとした。

(3) 熊本事務局との情報交換会開催について、'96ジャパンプの反省をまとめ、近日中に開催。

(4) 各担当進捗状況について  
会場は5会場から4会場開催の報告があった。

競技開催時間について、熊本事務局は14時開始で申請、会場は1ゾーン1会場で固定するよう申請。

(5) 世界選手権期間中の動員について、熊本大会を盛り上げ観戦を願うとの主旨からフェスティバル大会を計画

しているが、支援体制として実連、学連、日本協会、及び熊本県協会が検討することとした。

学連OB、OGへの動員呼びかけを民間レベルで検討している報告があった。

COC委員長が施設視察調査で来日する。

5、5,000人キャンペーン「世界選手権フレンドシップ'97」について  
全国PR、募金活動について「世界選手権フレンドシップ'97」キャンペーンとして展開する。会費は1口1万円とし、記念テレホンカードと機関連特集号を熊本大会対戦組み合わせ決定後に送付する。

国内アビールとして各機関各種主体に熊本大会のパンフレットを配布、PRと募金を実施する。発起人パンフレット作成が7月中頃までに完成するよう担当に一任。

全国理事会、全国理事懇談会で協力依頼をする。  
各種大会プログラムに熊本大会告知広告を載せる。

世界選手権テーマソング、応援歌のCDを各都道府県、日本リーグチームに配布。

### 6、選手強化関連事項

'97ジャパンプ開催について、6チームで実施を計画、一般会計、特別強化資金より充当することで推進している。

スウェーデン国際親善大会について、全日本チームの最後の仕上げとして計画、実業団チームとの対戦を含め実施に向けて推進している。

ナショナル委員会の人事構成について、スポーツ医学委員長の追加

がありました。

ナショナルチームユニホーム広告について、広告料の全額を協会に納入し強化費用に繰り入れることで了承。詳細については強化委員会検討し常務理事会へ提案。

全日本女子チームについて、アジア選手権と世界学生選手権がバッティングした場合、ナショナル活動を優先することを確認。

スポーツ医学研究指導報告書の編集完成に伴いナショナル選手のコロネーションングについて講習会を開催。

アジア男子ジュニア選手権団長をアトラクタオリピック視察派遣の報告。

### 7、指導委員会関連事項

(1) 公的資格(公認コーチ等)取得の義務付けを2001年までに実施したい旨提案がなされた。補助金対象以上の受講者がある場合日本協会です算化し実施するよう全国理事会で了承を取ることとした。

(2) 中体連ハンドボール部を高体連、学連と同等に認め指導普及を図ることとした。

(3) 第3回スポーツ医学国際会議(日本・熊本)について、IHF・MCC委員長が来日し、打ち合わせた結果、日本協会は先の決定通りとなった。

### ●報告事項

ヨーロッパ選手権視察報告があり、熊本大会にロシア、スペイン、ユーゴ、スウェーデン、クロアチア、フランスの参加が決定した。

全般的スケジュールの調整、大会の見直し等の機関としてIHF・C

OCに対応する競技検討委員会設置の意見があった。  
広島国際大会について報告があった。

## 第1回全国理事会

日時 平成8年6月15日(土)

場所 岸記念体育館

出席者 理事16名、参事6名、

監事1名

議題1、平成7年度事業報告(案)について

(常務理事会の項参照)  
議題2、平成7年度決算(案)について承認

議題3、平成8年度第一次補正予算(案)について

(常務理事会の項参照)  
議題4、'97男子世界選手権大会関連事項について

(1) IHFとの契約締結について  
(2) ジャパンプ'96終了に伴う課題について

(3) 進捗状況について、TV放映に関して、映像作成はNHK情報ネットワークと契約する予定であり、国内放映に関しては、NHKに依頼のため訪問予定である。

オフイシャルスポンサーについて、TV放映の数が問題であること、JSMに依頼することで話が進んでいる。

会場及び日程について、組み合わせと規定の問題で変更の可能性があり、最終的な決定はアトラクタでのIHF総会で決定の予定である。  
参加国について24カ国中7カ国が

決定。12月に組み合わせ抽選を行う予定。

アトランタオリンピック時のIH F総会に渡邊副会長が世界選手権に關して10分ほど報告を行う。また、A H Fの役員改選並びに総会に渡邊副会長、井理事が参加する。

(4)世界選手権フレンドシップ'97(仮称)事業計画について

(常務理事会の項参照)

(5)理事長懇談会の開催について、6月29日、評議委員会後、全国理事長懇談会を開催したい旨報告。

(6)観客動員について、世界選手権の観客動員を図るために日本協会主体の観戦ツアー、都道府県協会・連盟主体の観戦ツアー、個人計画による観戦ツアーについて提案がなされ、都道府県・連盟主体のツアーに關して協力依頼。観客動員に關して、その年度の全国大会の予選日程に關連するので、理事長懇談会の話題にして欲しい旨要望あり。

(7)世界選手権開催時に世界選手権観戦を兼ねてのフェスティバル大会に日本協会主催を常務理事会で承認したことを報告。自主運営の方向で計画に入っていくこととなった。

(8)世界選手権財務問題について報告があった。

議題5、'97男子世界選手権大会に伴う平成7・8年度日本協会役員の任期について

平成7・8年度役員の任期について、'97世界選手権終了まで現執行部で運営することが望ましいので、世界選手権終了まで任期を延長する提案があった。上部団体、各連盟との關係がある。世界選手権の財産を残し

次の問題を大切に、前人選委員会は世界選手権を意識して選んでいるとの話がある、とのことより任期通りとするとの意見が大勢を占めた。

議題6、寄付行為第17条(役員の改選)に關する細則の制定について

他競技団体の細則について説明があり、役員を公正な立場で選べるようにルール作りをしたいため、寄付行為細則に第3条を設け、役員選考委員会を編成することが提案された。

選考委員会委員について、選出母体が重複しないようにとの一項が添えられ以下のように決定した。正副会長2名、常務理事2名、ブロック理事2名、連盟理事1名、評議員4名、合計11名、以上承認。

評議員会終了後直ちに選考委員会を編成する手順とすることとなった。

議題7、選手強化関連事項について

全日本男子チームの強化スケジュールと終了した試合について結果報告。男女各ナショナルチームの事業計画と帯同について報告。第4回ジュニアアジア選手権で3位になったことを報告。

議題8、各事業担当・各ブロック・各連盟提案事項

(1)神奈川県協会からの第2回ジャパ

ンオープントーナメント大会に關し、男子32チーム、3会場、女子16チーム1会場での提案がなされた。日程について常務理事会に一任することとなった。

(2)四国ブロック理事長改選に伴う日本協会役員人事について、理事長が交代したことが述べられ、これに關わり日本協会役員の交代について申し出があった。2年任期に合わせる

とのことから、四国ブロックの了解を得てから、任期いっぱい現役職に留まることとなった。

(3)平成8年度第20回記念全国高校選抜大会は男女各36チームで行うことが報告された。また、前日の審判講習会を研修会を兼ねて行いたいことが述べられ、日本協会にも協力方依頼された。

(4)普及・指導事業から

イ、ナショナルチーム監督等公的資格取得の義務付けについて、提案がなされた。

ロ、平成8年度公認コーチ(C級)養成講習会が受講者44名で行われることが報告された。C級スポーツ指導員養成講習会も、熊本県、愛媛県で行われることが報告された。

ハ、普及委員会の組織変更について

ニ、学校体育ハンドボール検討委員会の検討が始まっていることが報告された。

ホ、関東少年少女ハンドボール大会と全国小学生大会の日程が重なったことに対し、今後日程を決定する際、考慮するよう各ブロックに依頼がなされた。

(5)第2回男子欧州選手権大会視察報告

(6)その他

イ、アトランタオリンピック日本選手団本部役員に市原理事が選出されたことが報告された。

報告された。

ハ、大会使用ボールと松ヤニ使用について質問が出され、早めに連絡するよう要請された。

ニ、世界選手権のチームソングのCDが出来上がったことが述べられ、今月中に各連盟、各都道府県協会に送付されることが報告された。各種大会に流して頂くよう要請された。

ホ、野田理事より、JOC専任コーチの後任に田口氏が承認されたことが報告された。

## 第一回評議員会

日時 平成8年6月29日(出)

場所 岸記念体育館

出席者 評議員44名、

執行部 渡邊副会長、

中澤専務理事、理事9名、

監事2名、参事1名

議題1、平成7年度事業報告について(常務理事会の項参照)

議題2、平成7年度決算について(常務理事会の項参照)

議題3、平成8年度第一次補正予算について

異議なく了承。

議題4、'97男子世界選手権大会に伴う平成7・8年度日本協会の役員の任期について

(第1回理事会の項参照)

議題5、寄付行為第17条(役員の選任)に關する細則の制定について

寄付行為細則は11月全国理事会に差し戻し練り直すこととなった。

次期役員選考に關し、評議員10名で選考委員会を構成する従来通りの

案と、評議員10名に議決権のない理事2名を加えて選考委員会を構成する案との纏められ、採決がなされた結果、後者の案が採択された。評議員会終了後委員選出の依頼。

議題6、'97男子世界選手権大会関連事項について

(第1回理事会の項参照)

チームソング、応援歌が決定発表になった。

大会総経費について説明がなされ、観客動員並びにフェスティバル大会について説明がなされた。

世界選手権フレンドシップ'97について、審議経過の説明がなされ、個人レベルでの協力依頼がなされた。

議題7、選手強化関連事項について

野田理事より、事業日程についての説明、オルソン監督の考え方についての説明がなされた。今後の活動に關連して各都道府県協会に協力依頼がなされた。

議題8、その他

(1)興繩熊本県協会会長より世界選手権に關して参加している意識で来熊の依頼をする挨拶があった。

(2)大阪東理事長より第1回回ジャパ

ンオープンハンドボールトーナメントについて発言があった。

# 第2回ヒロシマ国際大会

# 世界の強豪がヒロシマへ

## 韓国が他を圧倒

〜オリンピック3連覇に向かってまっしぐら



ゲームを見守る日本ベンチ(写真中央が榎塚監督、その右隣が西窪コーチ)

ゴールベスト10		
1	洪延昊(韓国)	17
1	イザベラ、チャブコ(ポーランド)	17
1	アンナ、イーズモン(ポーランド)	17
4	金美心(韓国)	15
5	金銀美(韓国)	14
6	田中美代子(日本)	12
7	王穎(中国)	11
8	金浪(韓国)	10
9	李尚恩(韓国)	10
10	楊蕾(中国)	9
10	マグニシカ、トルシンスカ(ポーランド)	9
10	林五卿(韓国)	9

第2回ヒロシマ国際大会が6月20〜22日の3日間、広島市東区スポーツセンターにて女子世界No.1韓国ナショナル、欧州の強豪ポーランドナショナル、中国から北京周辺の選抜チーム、日本チームの4ヶ国の間で行なわれた。

アトランタ・オリンピック大会を1ヶ月後に控えての世界No.1の

韓国チームはベストメンバーで来日、その仕上がりが注目されたが3ゲーム共まったくスキのない攻守を見せつけ他のチームを圧倒、オリンピック3連覇に向かってまっしぐら、ますます可能性がでてきた印象だ。

日本は新チームになって初の公式国際ゲームで、チーム力と個人プレーに興味もたれた。榎塚監督の意図する早いプレーと動きのあるプレー、また日本チームの特长を出そうとする意欲が随所に見られたものの、何でもないパスミスが見られ、また決めるべきところを決められない弱点は今後の課題であろう。

なお、この大会ではアトランタ・オリンピックでも採用されている作戦タイム(各チーム前後半1回ずつ1分間)がとられた。そしてローカルルールで試合メンバーは14名で行なわれた。

### 6月20日

ポーランド 23 (10-10) 20日 日本

【戦評】日本はスタートから3点連取、10分には7-3とリードを奪う。日本の早いボール回しとブラインドをついたステップシュート等がよく決まる。

ポーランドは前半ボールが手につかずわずかに個人技に頼るのみ。

日本対ポーランド戦の攻防



しかしエンジンがかった後半はナポジュナの速攻と右サイドのシュート、チャブコのカットイン、長身イズモントのロングが決まり出す。日本も稲次のリードから山形のサイド、田村のステップ、田中のロングがあざやかに決まり、互角に対抗、20分過ぎポーランドは3点連続得点して追いつがる日本を引き離した。日本はまったく惜しい星を逃した。20-25分の3点連取が響いたが、最後まで攻守にハツラツプレーが見られ、欧州の強豪を最後まで苦しめた。

【戦評】韓国は立ち上がりから素早

韓国 36 (16-7) 12日 中国



日本チームのメンバー

い動きとパス回しで中国を圧倒、11分までに早々と8-1とリード。後半も全員が脚力を生かす走り、守っても防御を割り込もうとする中国の動きを早いアタックで防ぐシャットアウト。しかし今一つコンビプレーが見られず監督からゲキがとんでいた。

6月21日

日 本 24 (12-13) 19 中 国

【戦評】勢いというのはこわいもの

である。また、いかにゲームの立ち上がりが必要かを教えてくれたゲームだった。気力で日本を上回る中国は陳のリードから若いプレーヤーが伸び伸びプレー、足を動かしよく動く。そして体格、体力を生かして鋭いカットインプレーで日本は前半防戦一方。

後半、日本は5点連続を決めてからようやくプレーにも落ち着きが見られたが、決める時に痛いシユートミス、またパスミスが出てなかなか点差を広げられなかった。20分仕のゲット、田中美代子が連続3ゴールを決め辛うじて逃げ切った。

韓 国 37 (19-11) 21 ポーランド

【戦評】韓国に対し今上昇機運にあるポーランドがどのように挑むか興味もたれた。両チーム共気力が空回りしてミスを連発。特にポーランドは5分にトルシンスカが退場と不正退場をとられ完全にリズムが狂った。韓国はこういったミスを逃さず着実にゴールを奪うところはさすがである。防御から速攻への切り替えも見事。

後半、必死で食い下がるポーランドであったが、韓国の早いボール回しについていけず、韓国のフォーメーションプレーが面白いように決まった。

6月22日

ポーランド 37 (19-6) 12 中国

【戦評】若手で固めた中国は連戦の疲れからかきれが悪く、ミスを重ねた。これに対しポーランドは、動きの量とスピードの乗った攻めを見せ、立ち上がりから中国を圧倒、若手のホープ・チャブコやベテランで左右どちらからでもシュートが打てるイーグゼンモントを軸に着々とゴールを重ねた。

特に前半の5-2から早いボール回しやミスにつけこんだ速攻で9連続得点をマークした攻めは圧巻だった。守りでも積極的に前に出て中国の攻撃を封じ込めるなど、終始、余裕をもった戦いで完勝した。

韓 国 37 (18-5) 9 日 本

【戦評】日本にとって世界の女王・韓国の前に悲惨な幕引だった。象



韓国チームの主将・林五卿



韓国チーム金美心のシュート

徴的だったのが、立ち上がり15分間の攻防。速攻、サイド攻撃、鮮やかなコンビプレーを披露した韓国に対し、日本は防戦一方でリズムがつかめず、時折放つシュートもバーやポストにきらわれ、あつという間に0-12の大差。勝負の先は読めてしまった。

韓国はその後その後スピーディな動きとタフネスぶりを発揮、日本のDFがつけられて空いたスペースへ回り込んだのシュートなど面白いようにゴールを量産した。

日本は左腕・田中美代子のゴールが散発的に決まっただけで、攻めのコースの読まれて苦し紛れのシュートを繰り返すだけ。戦術的にも未消化で、課題が一気に吹き出したような戦いだった。



# ヒロシマ国際大会で写真展

第2回ヒロシマ国際大会が広島市東区スポーツセンターで開催された折に会場入口にて97年熊本世界大会のPRのために写真展が行なわれた。大会主会場のパークドームはじめジャパンカップ熊本時代の選手の迫力あるプレー、全日本選手、世界のスーパースターの写真などが展示され、入場者はしばし足を止めて写真展を楽しんでいた。来年は是非熊本へ行きたいという声も聞かれた。

なお、写真展示は、ハンドボール愛好者はじめ一般の人々にも関心をもってもらおう意味からも、今後機会をみて全国の大会でも行なう予定でいる。

ポーランド(POLAND)				
リーダー	ヴォイチェク	エイモンド		
トレーナー	イエジェ	チェプリンスキ		
//	テレサ	ベツォルド		
ドクター	ズビグニエフ	ノヴォサツキ		
マッサージ	ビオトル	アプロラト		

番号	氏名	日本	韓国	中国	計
1	イヴォナ ベデナク	0	0	0	0
2	アグニシカ トルシンスカ	2	3	4	9
3	アグニシカ ジェンキウヴィッチ	4	0	3	7
4	シヴォナ ナボジュナ	5	0	0	5
5	アレクサンドラ ユヴナツカ	0	1	4	5
6	アンナ ガルヴツカ	1	3	2	6
7	マウゴジャーク イエンドジェイナク	1	0	3	4
8	アグニシカ アトシエフスカ	0	2	2	4
10	レナータ スキエル	0	0	3	3
11	イサベラ チャブコ	4	6	7	17
12	イヴォナ コヴァレフスカ	0	0	0	0
13	アンナ エイスモンド	6	6	5	17
15	サピナ ソヤ	0	0	4	4
16	イザベラ コヴァレフスカ	X	X	0	0

中華人民共和国(CHINA)					
リーダー	泰少波				
チーフ	王瑞生				
マネージャー	白景生				
通訳	呂志華				
オフィシャル	張新安				
コーチ	柳青				
コーチ	張西凌				
オフィシャル	邵志雄				

番号	氏名	中国	ポーランド	日本	計
1	劉金栄	0	0	0	0
3	孙佳	0	0	0	0
4	韓愛華	2	5	0	7
5	王穎	3	4	4	11
7	唐艶艶	1	4	0	5
8	万舒	0	0	0	0
9	王巍	0	2	0	2
10	陳志英	3	4	0	7
11	楊蕾	3	0	6	9
12	王晓霞	0	0	0	0
13	李曉方	0	0	0	0
16	歩卓	0	0	0	0
18	彭鶴	0	0	2	2

日本(JAPAN)					
団長	藤原修	日本体育大学			
監督	樫塚正一	武庫川女子大学			
コーチ	西窪勝広	オムロン			

番号	氏名	中国	ポーランド	日本	計
1	松尾 香代	0	0	0	0
12	山下美智子	0	0	0	0
16	藤浦 美絵	0	0	0	0
2	町村 啓子	2	4	2	8
3	山形 雪子	5	1	0	6
4	田中 里美	X	X	X	0
5	上出恵美子	3	2	0	5
6	松本 恵美	1	0	0	1
7	広瀬喜代香	X	0	0	0
8	稲次 彩	3	5	0	8
9	杉原 奈々	0	0	0	0
10	田中美音子	1	1	2	4
11	田中美代子	4	4	4	12
19	辻 賀奈子	0	3	0	3
14	田口 順子	0	X	X	0
15	田中由美子	1	4	1	6

大韓民国(KOREA)					
ヘッドコーチ	鄭亨均				
コーチ	金甲洙				
コーチ	尹泰日				

番号	氏名	中国	ポーランド	日本	計
1	文香子	0	0	0	0
2	許順榮	1	2	X	3
3	金美心	4	6	5	15
5	韓善熙	3	X	3	6
6	郭恵静	3	0	3	6
7	林五卿	1	6	2	9
8	金浪	4	3	3	10
9	金貞美	3	X	0	3
10	呉成玉	4	5	2	11
11	洪延昊	4	5	8	17
12	呉令蘭	0	0	X	0
13	朴正林	0	3	2	5
14	金銀美	4	6	4	14
15	李尚恩	5	1	4	10
16	趙銀姫	X	0	0	0
17	金貞心	X	0	1	1

人間の豊かさを求めるヒューマナイザー・中村荷役グループ

おかげさまで創業78年

**株式会社 中村荷役**

本社：〒108 東京都港区芝浦2-3-39  
TEL 03-3451-4477

'96年春

# ドイツミッドでの ハンドボール感想記



光島 磯雄

HAUSEN)、(SC・MAGD

EBUR-GWD・MINNEN)、

そして、4月末大阪市選抜チーム

と帯同しての訪独で、ハンブルグ

協会の厚意配慮により、ドイツ最

高の大会であるドイツカップ大会

(ドイツチェポカルシュピレ)

の準決勝と、決勝野3試合を観戦

する機会を得て、大阪市チームに

とつても、この前代未聞ともいう

べき最高イベントの見聞体験機会

を与えられたことを、この上ない

強い感銘と感謝の意を表明する気

持ちで一杯である。以下にこの観

戦・体験を述べてみる。

◎ブンデスリガ3試合5チームづ

れーとその他についての感想

いずれも力と体のぶつかり合い

で、60分間の激しい動きはゆるむ

ことなく、長短の強力シュートの

連発による点の取りあい、攻の面

では、サイドから逆サイドまで、

センターラインからゴールエリア

ラインに及ぶ縦横の幅の深さと、

高さのあるボールの移動と、プレ

ーのボールなしでの動きは、まさに基

本どおりのことを忠実にやっている。

防の面では、1-5、2-4を

併用し、機に応じてどちらかに転

換する場面が多く見られ、ボール

保持プレイヤーの次のプレーの予

測、あるいは、空間にあるボール

に対する次々の場面への予測行動

そして、相手を身体で阻止しよう

との動きが、往々にして相手を掴

む、はがい絞めにするにも及

んでしまう。GKは、いずれも果

敢な動きで場内を沸かせる。

レフェリングでは、来日したこ

とのあるトーマス兄弟、4月に来

熊予定のビュロ・リュプカーの

吹笛が安定していて、エキサイト

の場面にも常に余裕有る表情態度

(ときには笑みを浮かべて)で始

終する判定姿勢で、雰囲気の過激

化を招かぬ運営を示していた。目

立ったことは、攻防どちらのボー

ルかの判定が、プレイヤーに即座

に判りにくいときには、適宜、数

秒間の説明のようなことをしてい

たことである。しかしながら、ド

イツにおいても、日本でよく見ら

れるアドバンテージの見損ない、

テップがあつたと胸元で示すゼス

チャーで、フリースローに戻すこ

ともしばしば見られたが、これは

レフェリーのエラーの弁解笛と言

うべきであろう。

スタンドから見ていると良く分

かるレフェリーのミスは、しばし

ばレフェリーがボールに近いとこ

ろにいるが故に、瞬間的におこる

ボールやプレイヤーの位置の変化

を見損なうことがあることを、再

認識した次第である。このような

とき、プレイヤーは一応アピール

の動作をしたり、質問したりする

が、その指摘が正しいと理解して

いるときは、いたずらに権威を振

り回したりはせず、率直に軽い動

作でそのミスを反省する所作をし





マクデブルグの優勝をチームと観衆が一体となって喜んでいる

不利を与えられたチームの対応はただならぬものとなるであろう。総体的に言えることは、CR（ドイツではFSという）の動きが見た眼には不十分で、アドバンテージ状況への対応が完全でない。中には、CRの明らかなエラーであっても、GR（ドイツではTS）は介入しないことにしているものもある。独自の自己流のセスチャ―は全く見られず。フリースロー地点の修正は必ずやっており、不正な速攻の発生では、GRが必ず修正している。ステップについては、我々と明らかに大きな観察眼の相違があり、彼らは、小さなフエイントモーションのフットワークにはうるさいが、ズバズバと走り抜けるステップは大目に見ているかのようなのである。ジャンプシュートや倒れ込みシュートの際の着地後プレーにも甘い。攻のラインクロス判定についてのGKや防プレーヤーの反応はまことに素早い。レフェリーもそれを誘発（面白く見せる）する行動をとっているものとみえる。

大観衆のもたらす様々な音響と声援は、レフェリーの笛が聞こえなくなることあり。これは、ふえの種類（形式、音質）、状況にマッチした吹き方、位置取りに、もう一段の工夫の必要があつて当然と感じた。よく耳にする、北欧系のハンドボールと中欧系のそれでは、明らかに本質的な相違があり（特に付け加えれば、アジアでは韓国のハンドボール）、それが、レフェリングでは、肉弾相打つ攻防場面は当然。押したり掴んだりすることも、「極端、危険」の尺度がIHFの公式見解とはかけ離れていて、それを、チームや観衆やメディアは期待する傾向が有るかに見えた。

日本でも見られるサイドからのノーマークシュートへの反則にも、フリースローにしてしまう事も多く見られ、ドイツのレフェリーOBも、これは根拠の無いことだと苦笑していた。

13-6、14-9（アドバンテージ）への対応も、IHFルールとは違う感有り。どうやら、相手を掴んだり、押ししたり、両手で抱きつくような行為は、側方、後方、あるいはジャンプ中の相手に対する突き飛ばし（突き倒し、捕まえ）のような危険な事と区別しているらしく、後者に対しては遠慮容赦なく即座に、厳正な段階罰を適用していることも確かである。負傷者や、起き上がれずに倒れている者があれば、おおむね、レフェリーの入場許可の合図を待たずにチームの担当者が走り込むこともよく見られたが、これにも、罰則は無し扱であった。

場内アナウンスは、ホームチーム（ハイムマンシャフト）側に声援を求め、ムードを盛り上げる表現を用いている。得点後、○対○と告げて、得点プレーヤーの姓を呼び上げると、観衆が一斉にその名を叫ぶ。GKのファインプレーの時も同様に行っている。とにかく、全館内の観衆が、一斉にそれをやる様は、日本では考えられぬくらい強固な、地元との密着性がうかがい知れる。

すでにドイツでは新ルールを大部分適用した形で行なっており、タイムアウト（チームからの請求、7mスロー時）、パシブ予告等で、今後の試合は70分近くなることは確実であり、しかも、ハーフタイムもTV放送のため15分で行なっていた。

なにしろ熱狂的なファンの観衆は、試合前、ハーフタイム、試合後の非観覧席通路、廊下が、師走のデパート、あるいは秋葉原アメッコを思わせる混雑ぶりで、ビールなどの空き瓶がそこかしこに無数に置き捨てられている眺めも、壮観といえは壮観。館内の食堂では、軽食や飲み物がホームチームクラブ側からサービスされ、試合後、関係者が歓談しているが、この時は、敵味方・レフェリーとも呉越同舟だが、レフェリーのごきおろしが声高に語られても、皆二

ニコして居る場面は、これも社交であり、楽しみのひとつとして割り切れるからであろう。酔狂を起す者も全く見られず、館内の要所所には、多くの屈強な警備整理員（オルドナーという）が立ち、瓶類等を決して観客席に持ち込ませないよう目を光らせている。

他に気づいた点では、広告板設置のため、サイドラインから規定の安全地帯は無視されており、20cmぐらいは無いことや、ゴールネットは糸も太く、内側にも一枚のネットが張られてあり、ゴール本体への取り付けも、誠に頑丈そのもの。

また、地元のつながりを深めるためであろう、試合開始前にチームがコートに入ってくると、いつも最前列に陣取っている少年少女達が、ワアッと飛び出してお目当てのプレイヤーの激励に行き、プレイヤーはプレイヤーで、何か小物をプレゼントする習慣は、見事なもの。甚だしい場合は、シートでの練習にもチョロチョロ参加したりするし、プレイヤー達も、適当に相手をしてやっていることもあり、試合後も、ゴールエリア前で色々なプレーの真似事をして居る様子も、流石と思わせる。そして、地下食堂へ行けば必ず何か貰えるというわけである。これらは、皆地元クラブの構成員の一人

であり、この中から、楽しみながらプレイヤーが育つという環境は、日本の現状を思うとため息が出るだけである。

何しろハンブルク体育連合会では400からの下部クラブと、スポンサーによって支えられているというのだから、話が違いすぎる。

### ◎4月30日、5月1日両日、ドイツカップ大会を見た感想

出場チームは、現在の4強といふべきTUSEM ESEN（ルール地方・来日したことあり）、TG・MERUSUNGEN（メルズンゲン、ヘッセン州、2部チーム）、WALLAU MASS ENHEIMU（マッセンハイム、ウエストファレン州）、SCMAGDEBURG（マグデブルグ、ザクセン・アンハルト州）の4チームが、ハンブルク体育館に首位を目指し、その力と技を競い合った。

ハンブルク協会の手配によるバスで会場に着いたとき、駅から道を埋めるばかりの長蛇の人の列は、老若男女様々、道々ラップやドラムを鳴らしながら、クラブ歌(?)を歌いながらのデモで歩く様は、これも日本では見られぬ景観で、嘆声が出るのみ。入場券は、とくに売り切れとのこと、その入場についても、入口の管理はなか

なかの厳しき。特に感じたのは、バッグ類が全てチェックされ、VTR機器は全て2マルクとられて、一時預けに預けさせられたことである。これなど、ドイツ協会の著作権を勝手に侵害するなかれの意向とみられ、Videofilmが欲しければ、公式の物を購入せよという訳であろう。このあたりも、学ぶべき、見習うべきことであろう。

フロアはハンドボール専用のマットレスを敷きつめたもので、中央にドカンとスポンサー印が張りつけられてあり、いたるところに広告板の多さにも、又々ため息。

ドイツ選手権大会なので、ドイツ協会(DHB)、地方協会(と云ってもドイツでは、地方、中央という意識はほとんど無い)の幹部が多数見られ、旧知のドイツ審判部長ウイリー・ハックル(IHF理事も兼ねる)、来日したことのあるホフマン、ブラウゼ、ナシヨナルチームのチーフトレーナーのアルノ・エーレット等の顔も見え、旧交を温めることが出来た。ドイツ協会会長は、グイムラーベントの役員をしているベルント・シュタインハウザーという50歳の気鋭の紳士。

試合は、前記のブンデスリガ同様、壮烈な攻防の展開で終始し、初日のメルズンゲン対エッセンは、メルズンゲン2部チームながら、

近年補強の実をあげて伸び盛りのチームということで、1部トップグループのエッセンに食い下がり健闘し、惜敗したが、応援したファンは終了後もコート上で、プレイヤー達と大喜びで祝っていたのは印象的であった。国際試合経験260という桁外れのルーマニア人の、アレクサンダー・フェルカーというのがいて、すごいこと。マグデブルク対マッセンハイムも激戦となり、旧東独の面目にかけての強肩、好走、闘志は、ドイツが4人になっても衰えることなく勝ち抜いた。

レフェリングは、第一戦が旧東独のシュタルケ、ツェルナー、第二戦がファリション、ミヘル(ザール地方)担当したが、トラブルは無かったものの、荒い試合になつてしまった感じ。ハックルにたずねたら、ドイツカップ大会だからあれくらいは仕方ない、レフェリーは普通以上の出来だったとのこと。

第2日、決勝は15時30分から開始された。その前座として、大阪市チームはハンブルクジュニアとの対戦の機会を与えられ、閑散とした館内であったが善戦し、「惜敗」の域まで達したと思つている。時間が近づくとつれて、次々とエッセン、マグデブルクからのバスが到着し、応援合戦が始まる。開

# 軽さが進化した。



**Mizuno**  
THE WORLD OF SPORTS

通気性と防水性が合体した  
ニューエアリー採用。

ウイングゾーン OD-L ¥11,000

16KH-40109 サイズ:23.0~29.0

ホワイト/パープルにブラック/ゴールド 他1色

●甲:人工皮革 ●底:ゴム、合成樹脂

●記載価格はすべて税抜き価格です。消費税相当額はお客様に負担いただくこととなります。

●ミズノ製品についてのお問い合わせ・ご相談は——「ミズノお客様相談センター」 TEL:東京(03)3233-7110 大阪(06)614-8110

始に当たったのコート入場などもなかなか凝っており、照明を全て消して、チームだけに光を当てるといったクローズアップをしており、盛り上がりを一層かき立てる演出。レフェリーは、来日したビュロ、リュブカーが担当。

試合は、この日に満を持したエッセンのヨッヘン・フラーツ（国際試合187、来日したこと有り）が軸となつて、旧ソ連出身のアレクサンダー・トウシュキン（149試合）、2m以上は確実にあるドラガンスキエーラの若手を動かして初めは先行したが、マクテブルクもそうはさせじと、これまた輸入外人たる179試合経験のルーマニア人ロベール・リクロー、ポーランドからのトーマス・レビエーデインスキー（163試合）、226試合経験のベテラン、ピギンダス・ペツケビウス等の力で追い上げ、主導権を奪い、1000人以上の応援ファンの大歓声のうちに勝利。その途端、コート内に殺到したファンと抱き合い、踊りあつての中、紙吹雪・ドラム・ラッパの狂奏、なんとも盛大、かつ凄じいばかりの優勝シーンとなった。59年の東西ドイツ統一以来、何に付けても西側に牛耳られている現在の旧東独の、積もりに積もったうっぶんをこの機会に爆発させたような興奮ぶり。

直ちに、シュタインハウザー会長から銀色燦然たるカップが、コート中央に手早く特設されたステージ上に立ち並ぶマクテブルガーに渡され、ファン共々、フツラー・フツラー（万歳）の大合唱。このムードは日本で例えたとすれば、規模は小さいが密度は対等と言ふべき阪神・巨人戦の甲子園球場での勝利の場面と同じである。状況が一段落したので、控え室へ行くうとして階段を下りたところで、チーフコーチの旧東独ナショナルプレイヤーだったロタール・デーリングとすれ違い、「グラトウーリーレ」と声を掛けたところ、満

### 〈国内リーグ〉

ドイツ国内にはさまざまなレベルのリーグがあり、誰もが自分の競技レベルに合わせてハンドボールを楽しめるようになってきている。一番トップのリーグがブンデスリーガ、国内16州の代表チームがホーム&アウェイ方式でリーグ戦を行なう。その下にブンデスリーガの2部リーグがあり、国内を南北18チームずつに分けて行なっている。更にその下にレギョナルリーグ、オーバーリーグがあり、地方リーグ、州リーグ、都市リーグとだんだん小規模のリーグになっていく。そして更にそれぞれのクラブの中

面に笑みを浮かべて、「ダグケ・シェーン」と握手をしてくれたことにも感銘する。彼も来年は熊本に来るであろうから、その時は歓迎してあげなくてはと思いつつ、体育館を後にした。

ドイツカップは、当分の間ハンブルクが開催権を持っているとのこと、いつの日か再びドイツハンドボールの真髄に接する機会を、日本の有志の皆さんと共に見学、観戦したいものと、楽しみにしている次第である。

思いつくままに、前後まとまりのない感想文をつづつたが、以上でペンを置く。

### 高橋 鉄

で年齢別にチームがあり、大会もある。日本の場合、日本リーグ、実連、クラブリーグ、教職員大会、自衛隊、学生リーグなどに別れており、競技レベルではなく、自分の職業に合わせてチームを選ばなくてはならない。

### 〈クラブ運営〉

ブンデスリーガのチームの場合、1/2がスポンサーから、1/2が都市から、残りの1/2はクラブの興行で得た資金で運営している。プロ契約している選手はクラブから給料をもらい、そうでない選手は、他で仕事をしていたり、ユーゲントチ

ームのコーチをしている人もいて、様々である。

クラブの形態は19歳以上のトップチームの下に、Aユーゲント（17〜18歳）、Bユーゲント（15〜16歳）、Cユーゲント（13〜14歳）、Dユーゲント（11〜12歳）、Eユーゲント（9〜10歳）更に一線を退いたシニアのチームもある。少年に関して言えば、日本は3学年に一人のコーチであるのに対し、ドイツは2学年に一人である。もっと大きな違いは、日本では学校とスポーツが独立していないという点である。自分のやりたい競技がその学校に無ければそこで諦めなくてはならないし、指導者が専門家ではない場合もある。

### 〈練習〉

1チーム14人前後、時間は90分、一番能率の良い人数、時間で行なっている。練習場所は、ブンデスリーガの試合が行われるハンドボール専用の体育館で、時間をずらして行なわれる。私がマグテブルクの体育館に行った時に、Cユーゲントの練習が終わるのをトップのチームのメンバーがストレッチをしながら眺めているという光景を目にした。そして今度は、練習を終え、シャワーを浴びて出てきた少年たちが観客席に座り、何人ものナショナル選手のプレイを頭

## 革新の42パネル



検定球

**42H361WBK**

**42H261WBK・WR**

●貼り●天然皮革

国際公認球

検定球

**42H301WBK**

**42H201WBK・WR**

●手縫い●天然皮革

小学校ハンドボール試合球



検定球 **HS1**

●手縫い●天然皮革●1号球



株式会社 **モルテン**

東京本社 東京都豊田区鶴間5丁目5-7 電話 03-325-7381  
大阪 名古屋 福岡 広島 仙台 札幌 札幌 旭川 旭川 旭川 旭川

にタオルをのせて見ていた。何ともうらやましい光景であった。

練習はのんびりとリラックスした雰囲気で行なわれていた。以前見た韓国の殺気立った練習とは正反対で、怒鳴ったり、殴ったりというシーンは目にしなかった。ただし、試合となるとがらっと変わり、敵にも見方にも審判にも、闘志むき出してプレイするのである。

練習の内容も韓国と対照的であった。フットワークなど訓練的要素の強い韓国の練習に対し、ドイツの練習はゲーム的要素を取り入れた練習が多かった。また、オフエンスに関してはフェイントよりもシュート、ディフェンスはコンベインションよりマンツーマンを重視していた。もう一つ練習で特徴的だったのが、いろいろな大きさのボール、カラーコーン、マットなどいろいろな道具を使って、とにかく選手を飽きさせないように練習を工夫していたことだ。勤勉なアジア人と、自由奔放な欧米人の違いだろうか。

### 〈小学生のハンドボール〉

初めてEユーゲントの練習を見て驚いたのは、日本の小学生とさほど変わりがないということだ。むしろフェイント、ジャンプシュートに関しては日本の子の方が上手だった。ただ、身長が高く、手

足が長く、手のひらが大きいのでステップシュートの威力は抜群だった。フェイントやジャンプシュートを覚えなくても点数が取れるので、無理に教えていないのだと私は推測した。子供がハンドボールを競技する上で、一番興味を持ち、満足できるのは、得点することである。より得点しやすいようにルールを変えたミニハンドボールがヨーロッパで行なわれているのはうなずける。平均的に身長が低く、手足の短い日本人こそミニ

は思った。それより早い時期から正規のコートに慣れさせておいた方が良く、と反論されそうだが、その子がより満足できるのはどちらかを考えてほしい。特に小学生のサイドプレイヤーの得点は少な過ぎる。

### 〈ブンデスリーガ〉

男子はSCマクデブルグ、女子はVFBライプチヒの試合を観戦した。どちらも3、4位を争っているチームでナショナルの選手もたくさんいた。

試合会場に入るなりすぐに鳥肌が立ち、なぜか涙が出てきてしまった。ハンドボールに携わっている人間なら死ぬ前に一度は見たいし、その時思った。ブンデスリーガは会場からして

まず違う。まず目につくのが広告である。壁面から天井から、コートの上にもスポンサーのCMがある。また、どこ会場もハンドボール専用の体育館で、ハンドボールのラインしか引いていない。ひいてあってもせいぜいバレーのラインぐらいである。観客席はサイドラインぎりぎりであり、ゴール裏には防球ネットが張られ、その後ろにも観客席がある。ガラス製のVIPルームのある会場もあった。

試合の演出も違う、私の見た試合はあまりタイトルのかかっている試合だったが、シーズン初めの試合や、タイトルのかかっている試合はすごい盛り上がりらしい。暗闇の中からスポットライトを浴びて選手が入場してきたり、アナウンサーが観客にかけ声を出させたりするらしい。試合の様子はTVで放映され、新聞、ニュースでは全試合結果が紹介される。

日本リーグの試合は同じ会場ですべて試合続けて行なう場合が多いが、ブンデスリーガはホーム&アウェイで行なっている。一日に1試合しか行なわれない。会場は1時間前に開場し、観戦者は会場の中でビールを飲んだり、Wingの様子を見たりしている。ハーフトイムにもみんなバーに下りてきてビールを飲み、チリンチリンという

鐘の合図で席に戻る。

さて、肝心のゲーム内容についてだが、まずルールが違っていた。ブンデスリーガにはタイムアウトがあり、時計もこまめに止めるので、日本リーグより長い時間観戦できる。また、審判の笛もあまく、特に接触プレイの基準が相当あまう。日本人の審判が笛を吹いたら、試合開始10分で、コートには誰もいなくなってしまうそう。

ヨーロッパのハンドボールはパワーオンリー、スピード、テクニクは日本の方が上、と聞いたことがあったが、全然そんなことはなかった。身長2mを越す選手が、ディフェンスのわきの下からアンダーで打ったり、バックシュートを決めたりしているのである。0度の角度からサイドシュートを打ってくる選手もいた。またそれを監督が、しっかり守れと要求しているのにも驚いた。とにかく個人技に富んでいて、シュートの技術が多彩であった。その上、思い切りがよく、大胆なプレイが多いので見ごたえがあり、興奮できるのである。言うまでもないが、ブンデスリーガの興行を支えているのは、選手のプレイスタイルにあると感じた。あのプレイを見れば、誰もがもう一度見たい、もつとすごいプレイが見たい、と会場に足を運ぶはずである。

躍動...  
常に時代の先端を走りたい。



トヨタ車体株式会社

本社 〒448 愛知県刈谷市一里山町金山100番地

# 熊本世界大会ニュース



## ★事務局ビルをハンドボールのメッ

ツカに  
来年5月17日の開幕ちょうど1年前、開催地・熊本で最も交通量の多い交差点内に位置する大会組織委員会熊本事務局ビルに、大会マスコットキャラクター「飛勇太」の巨大な看板(縦7m×横5m)が設置されました。また、開幕までの残日ボードも設置され、道行

く人の視線を奪っています。ビルの玄関には誰もが気軽にハンドボールに触れてもらおうと、ハンドボールすばつとを設置しました。連日、子供たちやサラリーマンがゴールへシュートを投げ込んでいます。

## ★ジャパンカップ写真展(5月25、26日)

先に行なわれたプレイベント「ジャパンカップ96」写真展が熊本の繁華街下通りで行なわれました。迫力ある選手のプレーやリラックスした市民との交流の様子などを展示しました。市民の関心も高く、写真展グッズには多数の参加者があり、合わせて行なった「ひゅうた倶楽部」街頭募集には多数の入会者がありました。

## ★ひゅうた倶楽部活動

事務局では、今回実施した写真展を、今年行なわれる日本ハンドボールリーグや各種の大会会場での実施の予定。ご要望があれば、熊本事務局広報課までご連絡を。

## ★ひゅうた倶楽部活動

大会500日前(1月3日)より募集を始めた、大会公式サポートズ「ひゅうた倶楽部」の団結式が5月26日、熊本市幸島公園で開催されました。式には熊本出身の全日本プレーヤー魚住和彦選手と岩本真典選手もかけつけ、集まった400人の会員は大喜び、会員による団結宣言のほかテーマソング「ONE BALL ONE WORLD」の実演や、応援歌「WOW!」の作者スパーとをチアリーダーのパフォーマンスなど楽しい団結式が行なわれました。

## ★飛勇太出張開始

大会マスコットキャラクターの飛勇太着ぐるみが増産されました。今後行なわれる各種の大会やイベント、祭り等でPRを行ないます。事務局では着ぐるみの貸し出しも行なっております。ご要望の際は、熊本事務局広報課へご連絡を。

## ★大会テーマソング、応援歌、CD作成

4月ジャパンカップ96熊本大会において大会テーマソング、応援歌の発表と表彰を行いました。この度このテーマソング、応援歌のCDを作成し全国評議員会、理事長会議でも配られ、各協会で行なわれる各種大会時にこのテーマソング等を流してもらおうよう依頼をしました。

この曲は覚えやすく、かつ元気が出る曲として大変好評を得ています。事務局では世界加盟国はじめ国内のテレビ、ラジオ、活字等のメディアにも配布し、大会まで



★出場国続々決定

先に行なわれた第2回ヨーロッパ男子選手権の結果、ロシア、スペイン、ユーゴスラビア、スウェーデン、クロアチアが出場権を得しました。これまで前回アイスランド大会で優勝したフランスと開催国日本だけが決まっていますが、予選で出場国が決まるのは今回が初めてです。ヨーロッパ大陸からは、今秋から行なわれるヨーロッパ予選でさらに6カ国が決定し、他の大陸からの出場枠も年内に24カ国すべて決定する予定です。

★IHF・COCC委員長、ピーター・ミュレマター氏来熊  
IHF・COCC委員長ピーター・

ミュレマター氏は6月23～26日まで熊本に滞在。競技会後施設、滞在ホテルの調査、及び競技日程等へ打ち合わせ行ないました。日本協会から中澤専務理事、竹野熊本担当常務理事、山下、井両理事、熊本事務局より前田総局長、古田事務局長はじめ関連部署の責任者らが応対し、協議を行ないました。

各競技場の現地視察と建設中のドームなどは図面で説明。各アリーナ内には実際にコートで本部、ジュリーテーブル、スーパバイザー席を設けて再確認とアドバイスをいただいた。

ミュレマター氏は、施設については「国際的水準にある」と評価、大変ハードスケジュールでしたが、スケジュールを精力的にこ

なし「熊本でのハンドの盛り上がりを感じた」と印象を語っていました。

「ピーター・ミュレマター氏」  
1945年1月2日スイス生まれ51歳。

ヤングボーイズベルン及びBSVベルンのチームでプレイ。スイスナショナルチーム委員会委員を11年務める。ベルンスポーツ委員長。1986年世界選手権大会組織委員会役員。1988～1994年国際ハンドボール連盟普及開発委員会委員。1994年国際ハンドボール連盟競技運営委員会委員長。



★第26回IHF総会(アトランタ)にて97年世界大会をPR

第26回IHF総会はアトランタにて開催されたが、この総会の中で97年世界大会、熊本の準備状況をフィルムを使って日本協会渡邊副会長が英語でスピーチ、併せて

ング等が掲載されているパンフ等を配布してPRを行なった。

また、中沢専務理事の代理で出席した井常務理事(国際担当)、熊本事務局・山本理外事調整課長、藤山正文業務課長も同行し、側面から支援、PR活動を積極的に行なった。97年熊本への関心も相当高まっていて、バッチ等のノベルティーも引っぱりだった。

★熊本県内で世界大会を成功させる会発足

このほど7月6日(土)、熊本市内のホテルにて大会の盛り上げと成功へと導くため、県内の愛好者が一堂に集り、「97年世界大会・熊本を成功させる会」を発足させた。

当日は興繩義昭熊本ハンドボール協会会長、来賓として福島熊本県知事、中村熊本市助役が挨拶、また井県協会副理事長が大会の概要を説明、そして熊本出身の日本協会竹野常務理事(世界大会推進担当)から世界大会に向けての講話があり、県内から参集した約150名のメンバーは今後、本番まで会の活動とどんどん大会を盛り上げようと誓い合った。

屋根でカラダを張る鉄。



雨、台風、嵐、暴風、雪  
ものを考えたら、最初からアタマに浮かぶようなものではない。しかし、これだけではありません。例えば、家の中で起こった子供たちのケンカの声。外で走っている車の音などの騒音。そして、万が一の地震も。毎日の



何気ない「平和」をつくってくれる屋根も、実は、日新製鋼のファインステールでできています。鉄に頼もしいをプラスすれば、毎日ほんのりとほっとできると思う。ただの鉄の塊が人に近くなると、そこにファインステール、そして日新製鋼がいるはず。

鉄+頼もしい=ファインステール、日新製鋼の仕事です。

日新製鋼株式会社 〒100 東京都千代田区丸の内3丁目4番1号(新国ビル) ☎03-3216-5511

# 第4回

## アジア女子ジュニア

### 選手権報告

監督 井上亮一

今回のアジア女子ジュニア選手権において韓国、中国に次いで第3位となり、当初の目的であった第11回世界選手権の出場権を獲得することが出来た。

内容的には、強豪の韓国相手に前半26分過ぎには2点のリードするなど互角以上の展開を見せたこと、中国戦ではオープンングゲームという緊張のなか、敗れはしたが、今度やれば勝てるという意識を確認出来たことなど、短期間の合宿の中で基礎技術、特に防御練習しか出来なかつたにもかかわらず各選手が忠実に実践してくれたように思えるが、一方では国際試合は勿論、国内での試合ですら経験の乏しい選手達の経験不足を痛切に感じた大会であった。

強いイニシアティブを持つチームリーダーの養成、体力面・精神面のスタミナ、的確な状況判断と勝負への執念等があげられる。来年アイボリーコーストで開催される世界ジュニア選手権に向け、これらの課題を踏まえ、大会での目標を強化していきたい。この遠征に帯同していただきましたドクター・トレーナーの先生方には調整合宿より入っていただき、選手間とのコミュニケーションは勿論、メデイカル面においても大変効果があった。世界選手権にも是非同行していただけるようお願いを申し上げたい。また今回、初めての国際試合を経験するもの選手の多し中で、中国協会の胡理事長はじめ中国協会の皆様には大変良くして頂きお世話になりました。また、現地では右も左もわからない我々にいつもそばでサポートしていた

いただきました通訳の邱さんには、特別にお世話になり感謝を申し上げます。こうした外国で多くの人々との触れ合いにより、選手たちには試合だけでなく多くの国際経験を積んで大きく成長してもらいたい。

#### ■第1戦

日 本 22 (11 | 11) 30 中 国

前半、出足が悪く堅さが見られ凡ミスが続くが、相手も同じような出足であった。点の取り合いを続けていたが、ミスが重なり相手に得点を許しリードを奪われる。終盤に攻撃のリズムが良くなり相手のミスにも助けられ2点差まで行くが、もう1本が出ず3点差で折り返す。

後半、リズム良く始まるが、相手のミスにつけ込めず点差を縮めることが出来ずに進んで行った。中盤にスタミナ切れでミスが出て相手に得点を許す。中盤すぎ相手もスタミナが切れてきたので積極的なDFを仕掛けて行き相手のミスを誘うが、同じようにミスを重

ね点差を縮める事ができずに終わった。

#### ■第2戦

日 本 27 (16 | 11) 40 韓 国

前半、先制点を取って行くが、その後シュートが入らず相手に連続得点を許しリードを奪われるが相手のミスに付け込み得点を重ね同点とする。この様な展開で中盤まで進み相手のミスから連続速攻などで得点を奪ってリードし2点差での攻防が続き残り5分を過ぎた所でミスが出て逆転・リードされ3点差で折り返す。

後半、相手の気迫あふれるDF・OFでプレーが消極的となりシュートミスが続く相手に得点を許す。中盤にリズム良く攻撃し得点するが、DFで守り切れず点差を縮める事が出来なかつた。終盤は、スタミナがなく無理な攻撃に行つて反則を取られ速攻を許した。2試合とも後半のスタミナ切れが大きく響いた試合であった。

①韓国、②中国、③日本

個人得点表

	中国	韓国	合計
吉田	—	—	
飛田	—	—	
田中	—	—	
山下	4 (1)	6 (1)	10 (2)
巽	—	5	5
村上(美)	—	—	
中村	2	4	6
村上(麻)	2	3	5
浜田	—	—	
藤野	—	—	
佐久川	5	—	5
酒井	3	2	5
山崎	5	6	11
菅谷	—	—	
稲吉	1 (1)	1	2 (1)
穂積	—	—	
	22 (2)	27 (1)	49 (3)

## 勝利の言葉は まごころ

勝利の  
明日の為に  
私達が役立ちます



国内合宿・海外遠征からご家族の旅行まで  
なにからなまでに手配致します。

株式会社 エモック・エンタープライズ  
運輸大臣登録一般旅行業第1144号  
〒105 東京都港区西新橋1-17-4Y・Kビル1F  
TEL: 03-3507-9777 FAX: 03-3507-9771  
一般旅行業取扱主任者 佐々木雅之

## 第4回アジア女子

### ジュニア選手権で

### 国際大会デビュー

武智誠治



1994年に国際審判員の資格を取得してから、今回初めて海外での国際トーナメントである第4回アジア女子ジュニア選手権に参加させていただきました。国際審判員としてのデビュー戦でもあり、日本のレベルをアジアにアピールしなければならぬ役目を兼ねている大切な大会であると思いつながら、中国へと旅立ちました。

今大会はカザフスタンが不参加のため、日本・中国・韓国の3か国によるリーグ戦という小さな大会となりました。その上、UAEから審判員が来ていたため、全試合数が3試合、審判員が4ペアー(日本・中国・韓国・UAE)という審判員の数より、試合数の方が少ないというあまり例を見ない現象が起こってしまいました。最終的にはホスト国の中国の審判の割当がなくなりましたが、割

「講習会などの研修を積んで来ましたが、理論や考え方には十分な自信もあり、後は実戦で試すだけであつたのですが、実際試合を担当してみると、日本で笛を吹くのは違ひ、常にいろんな意味でプレッシャーをかけられ、心が揺れ動いているのが自分でもはっきりわかりました。このような心理状態で、良い笛が吹けるわけがなく、試合も私たちが思っていたような運営もできず、不満足な結果となつてしまいました。国際審判員の先輩達が、「経験が最も大切であ

る」と言われたことが今にして身にしみて感じてきました。レフェリーにとって経験というものは、非常に大切であり、理論を試合で表現できる技術と精神力を身につけていけるように今後も専心していきたいと思ひます。

最後になりましたが、今回の派遣に際しご迷惑をおかけした大塚審判長、日本協会の方々、また中国でお世話になりました井团长及び井上先生をはじめとした全日本ジュニアのスタッフの皆様から感謝し、報告いたします。

松原誠起



当があるのかどうか、非常に気もみながら大会の日程を消化していきました。3か国対抗ですから私達が担当できる試合は韓国・中国戦しかなく、その試合がちょうど大会の最終日の試合、ファイナルゲームであつたため、本当に割当がくるかどうか心配でした。しかし、当日の朝のレフェリーミーティングで今日の試合の担当は「Japan」と聞いたとき、ほつとした思いと、軽い緊張を感じました。この大会に参加するまでには、今年に入つてからでも1月にIHFレフェリートレーニングコース、3月にコーチ・レフェリーシンポジウム、及びノルウェーレフェリー

今回、中国の成都市で開催された第4回アジア女子ジュニア選手権に帯同審判として参加させていただきました。この大会が、私たちにとって記念すべき国際トーナメントのデビュー戦となりました。関西空港から全日本のジュニアの選手団と一緒に中国へ向かいましたが、ジュニアのスタッフの皆さんのお心遣いのおかげで、和やかな雰囲気の中、リラックスして成都に着くことができました。北京で乗継ぎがあつたりして、大変苦労をしながら、目的地に到着したわけですが、到着した私たちを待っていたのはカザフスタンの不参加という知らせでした。これによつて参加チームは日本・中国・韓国の3か国となり、試合数も3試合ということになってしまいました

た。レフェリーは4ペアー来ていたため、割当があるかどうか、心配しましたが、何とかファイナルの中国・韓国戦を担当させていた。レフェリーとは、いつも笑顔で絶えず、的確な判定をし、試合場のみんなが試合が終わった時初めて審判がいたことに気づくようなレフェリーである」というアドバイスをしていただきました。さ

要以上に神経質になった部分があつたりして、自分のリズムを最後までキープすることができず、何をやっていったのか分からないといった状態のまま試合終了の笛を聞いてしまいました。この試合で初めて、国際試合の恐さ、特に他国へ行つたときの運営の難しさを知ることができました。井さんの言われた「最後になって初めて審判のいることに気づく」というようなレフェリングとは、スムーズな試合の運営を指しているのだと思ひますが、やはりこれができようになるためには、いろいろな経験が大変重要になってくるように思ひます。日本の国際審判員は、このような経験をjする場が非常に少なく、苦勞をしています。今回のような経験をj生かして、次回には悔いの残らない試合運営をしたと思ひています。試合の後にやはり团长の井さんからアドバイスをいただき、「まだ、君たちは生まれたてのひよここと同じだ。いろいろな経験をjして親鳥になれるよ」といってほしい」といふ言葉をいただきました。これからも謙虚に一步一步階段を登るように頑張らねばという思いを強くしました。

最後になりましたが、お世話になりました全日本ジュニアの方々、及び日本協会の関係各位に感謝し、少しでも日本のハンドボール界の発展に今後も協力できるように頑張りたいと思ひています。



# 第5回アジア男子ジュニア選手権大会 全日本ジュニアメンバー発表

第5回アジア男子ジュニア選手権大会は8月21日～9月1日まで中東・アラブ首長国連邦ドバイにて次の9ヶ国が参加して行われる。

参加国は、日本、バーレーン、中国、イラン、韓国、クウェート、サウジアラビア、オマーン、アラブ首長国連邦の9ヶ国。

なお、この大会は1997年世界ジュニア選手権大会（8月・トルコ）の資格予選も兼ねているだけに重要な大会であり、上位2ヶ国が世界大会の出場資格がある。日本は前回の第4回大会は第5位であった。

男子アジアジュニア選手権大会の過去の成績は表の通りであり、ジュニアの不振、低迷はそのままシニアの方にも影響があるだけに決勝まで進出して世界大会の出場をねらいたいところ。ジュニア世界大会には1985年のイタリア大会で11位となったが、その後10年間（5度の世界大会）出場していない。常にジュニアの上位を占めているユーゴ、エジプト、スウェーデン、スペインあたりがシニアでもいい成績を残していることを考えると、アジアでのジュニア強化対策に真剣に取り組まないと

ますます世界から遠くなるばかりである。中近東の台頭もあり、一戦一戦、気を抜けないゲームが続きそうである。

## 第5回アジア男子ジュニア選手権大会 選手名簿

役職	氏名	所属	選手	氏名	所属	所属	身長	体重	出身高校	出身地
団長	住尾 勉	県立土浦第一高校	1	奥野 誠	函館大学	1976.11.18	184	83	金沢市工	石川県
監督	高橋 精一	桃山学院高校	12	宇野 貴博	日本体育大学	1977.4.12	183	74	横浜商工	神奈川県
コーチ	松井 幸嗣	日本体育大学	16	千石 栄治	小松工業高校	1979.3.8	192	75	--	石川県
//	玉村 健次	湧永製薬(株)	2	鈴木 信次	国士舘大学	1976.4.9	188	82	学法石川	福島県
ドクター	橋本 吉登	藤沢湘南台病院	3	谷口 了	日本体育大学	1976.11.1	182	76	北陸高校	和歌山
トレーナー	豊嶋 信介	濱脇病院	4	小薮 憲次	中央大学	1976.6.22	176	72	桃山学院	長崎県
レフェリー	仲田 稔	県立流山中央高校	5	井上 博人	日本体育大学	1976.5.24	172	68	桃山学院	兵庫県
レフェリー	植村 彰	県立松戸南高校	6	下川 真良	大阪体育大学	1976.6.23	170	66	北陽高校	京都府
通訳	鈴木 千織	(株)エモツク	7	窪小谷貴浩	学法石川高校	1978.8.7	195	89	--	福島県
			8	大村 佳史	日本体育大学	1977.4.5	176	70	伊奈高校	茨城県
			9	前田 誠一	浦和学院高校	1979.5.3	182	70	--	北海道
			10	谷島 正孝	中京大学	1977.6.19	171	70	国学院栃木	栃木県
			11	安斎 稔	日本体育大学	1977.7.24	183	70	横浜商工	東京都
			13	古家 雅之	筑波大学	1977.9.20	184	70	桃山学院	大阪府
			14	瀧川 義史	日本体育大学	1977.12.26	175	63	桃山学院	滋賀県
			15	長沢 好一	福岡大学	1977.7.18	183	78	都城工業	宮崎県

### 男子アジアジュニア選手権大会過去の記録

順位	第1回	第2回	第3回	第4回
	1988年	1990年	1992年	1994年
	シリア	イラン	北京	シリア
1	韓国	中国	韓国	カタール
2	クウェート	韓国	クウェート	バーレーン
3	シリア	シリア	日本	サウジアラビア
4	台湾	日本	台湾	韓国
5	カタール	台湾	中国	日本
6	アラブ首長国連邦	イラン	カタール	アラブ首長国連邦
7	日本	カタール		シリア
8	パレスチナ	インド		クウェート
9	イラン			中国

WE MAKE CHAMPION!

持久運動時の  
エネルギー  
補給飲料

パワーアシスト  
**エネル  
ゲン**

大塚製薬

パワーアシスト

**エネル  
ゲン**

## 第2回世界女子学生選手権

参加国

台湾  
クロアチア  
チェコ  
フランス  
ドイツ  
ハンガリー  
日本  
ノルウェー  
ポーランド  
ルーマニア  
ロシア  
スロバキア  
ユーゴスラビア  
ブルガリア

### 全日本学生女子チームのメンバー決まる

8月26日から9月3日までブルガリアで開催される第2回世界女子学生選手権大会に出場する全日本学生女子選抜チームのメンバーが下表のように決定した。

団長 久保 義雄(全日本学生ハンドボール連盟副会長)  
監督 水上 一(筑波大学)  
コーチ 土井 秀和(大阪教育大学)  
コーチ 五味 崇恵  
総務 岩崎 みどり(株式会社エモックエンタープライズ)  
医師 北岡 克彦(金沢大学医学部整形外科)  
トレーナー 才田 浩之(金沢大学付属病院理学療法部)  
レフリー 小笠原 久郎(進研社)  
レフリー 浜田 浩和(都立第5商業高校)  
選手

GK	遠藤 ひろみ	東京女子体育大学	4年	170cm
GK	庵下 雪絵	筑波大学	4年	171cm
CP	碓 美樹	大阪体育大学	4年	174cm
CP	琴野 由子	武庫川女子大学	4年	170cm
CP	梶田 華恵	東京女子体育大学	4年	166cm
CP	阿部 真澄美	筑波大学	4年	163cm
CP	辻 賀奈子	大阪体育大学	4年	163cm
CP	池原 みゆき	大阪体育大学	4年	160cm
CP	山口 美穂	東京女子体育大学	3年	170cm
CP	日下部 美智	筑波大学	3年	169cm
CP	田口 順子	日本体育大学	3年	168cm
CP	小島 淳子	東京女子体育大学	3年	163cm
CP	早川 まさみ	筑波大学	3年	158cm
CP	杉原 奈々	武庫川女子大学OG	オムロン	155cm
CP	西田 由美子	大阪教育大学	2年	170cm
CP	岡野 早苗	筑波大学	2年	166cm

※杉原選手はユニバーシアード規定により、大学卒業後1年までの選手の出場が認められるために、OGであるが選出されている。

## アトランタオリンピック本部役員に 市原則之氏



第26回オリンピック大会の日本選手団本部役員として日本ハンドボール協会理事・市原則之氏が参加する。  
市原氏はJOCで競技と広報を担当することになっていて、その活躍が期待される。JOCの本部役員としてハンドボールから参加するのは初めてのことである。

### 第1回世界女子学生選手権成績

(1994年6月19日～26日スロバキア)

- |           |               |
|-----------|---------------|
| ●順位       | ●日本の戦績        |
| 1位 スロバキア  | 予選リーグ         |
| 2位 チェコ    | ●日本18-26スロバキア |
| 3位 ルーマニア  | ○日本26-23ハンガリー |
| 4位 ハンガリー  | ●日本18-19ドイツ   |
| 5位 韓国     | ○日本17-16ブルガリア |
| 6位 日本     | ○日本24-22ポーランド |
| 7位 ロシア    | 5位-6位決定       |
| 8位 ドイツ    | ●日本21-20韓国    |
| 9位 クロアチア  |               |
| 10位 ブルガリア |               |
| 11位 ポーランド |               |
| 12位 台湾    |               |

キレ味、だいご味。のどごし爽快。  
**キリンラガービール**

新鮮な明日へ KIRIN



DO!  
LAGER



ビールは、20歳になってから。あきかんは、リサイクルへ。

より楽しく

# 個性的・創造的な ハンドボールを

かながわクラブ 三 辻 訓



## ○基礎的環境

ハンドボールをより楽しく、創造的に行うために、多くの方々のご協力をいただくことができ、こ

までこれたものと感謝しております。これまで、ハンドボールの指導とスポーツ医学の研究実践を半々の割合で行ってきました。

体力づくりは、勝敗にはすぐに結びつかないという考え方がありますが、個性的・創造的なハンドボールの為に最重要課題と考えています。以下のものは85年から高校生、教員チームで実践してきたものです。

## ○測定から処方へ

86年より、体力測定から運動処方までを、防衛大学西山先生にご指導をいただき、チーム指導に導入いたしました。それまでのスキルテストに加え、チームの基礎体力の向上に大きな成果を上げる事

ができました。これまでのデータを生かし、さらに有効なトレーニングを研究していきたいと思います。

## ○メデイカルチェック

87年より、湘南台病院高尾良英先生のご指導により、MCを導入させていただきました。現在は河野卓也先生が、年間を通して選手

の傷害予防に、治療にご協力をいただいております。怪我をした選手の復帰にも多くの県内スポーツ整形の先生にご協力を頂き、安心してプレイできる環境が整いました。はとり内科クリニック羽鳥裕

先生には、内科MCのご指導いただき、貧血等でないへんお世話になり、食事のご指導までいただいております。

## ○ウエイトトレーニング

基本的な筋力アップに加え、筋バランスの矯正に主眼をおいて、

処方しています。パフォーマンスとして、すぐに確認しにくいものですがオフシーズンの重要な練習として行っています。

## ○SAQトレーニング

ラダードリルはスピード養成を中心に、アジリティについては、様々なボールを使用して、ともにオリジナルなものを毎回の練習で行っています。各種ハードル等を使用し、プライオメトリクス系

トレーニングも行っています。メデイシンボールは体の捻りを中心にオフシーズンで実施しました。

## ○ストレッチング

各種のストレッチングを取り入れていきます。冬季にはダイナミックストレッチングを、可動域の確保にはPNFストレッチングを行っています。ゲーム中にPNFを有効に利用している選手もいます。

## ○メンタルトレーニング

リラクゼーションからはじめ、メンタルリハーサルを指導してきました。テープを選手に配り、個々の課題としています。

○ビジョントレーニング  
ロングシューターがポストが見えないという発言から始まったトレーニングですが、簡単なカードで、深視力や周辺視野を養う練習を続けています。

○練習計画  
選手を育てるという心構えで気の長い計画を立てています。3年計画、年間計画、シーズン計画、短計画で、組み立てます。選手の1回2回の練習では、先が見えず不安になるようですが、短期の課題を設定することで、克服していきます。

○個人技能  
ミスのは半分は投げる側のミスで、パスの重要性を意識することを強く指導しています。シュートは打つことそれ自体が大切ですが、その前の動作や見るポイントの大切さを工夫しています。デフエンスはフットワークですが、ハンズワークも細かく注意します。

○集団技能  
2人以上の攻防練習では必ずパスサーをつけて、ゲームの中の部分練習であることを意識づけます。さらにこの練習が何を目的としているのかを、選手が理解できるよ

うに心がけます。3人以上の練習では、パスをする者と受ける者より、3人目の選手のプレイに着目していきます。プレイのミスの指導より、こうすればこんなプレイができる。と常に前向きに取り組むようにしています。選手のアイデアあるプレイは大歓迎です。速攻練習は3人までの基本練習を繰り返します。持久力練習で数分間を足を止めずに反復することもありますが、前もって選手に理解させ、互いに声を掛け合い、自ら挑むように指導します。最も活気ある練習となります。

模擬ゲームは、ゲームの状況を設定します。立ち上がりの10分、作戦はどのように指示しておきます。ラスト3分2点差が最も緊張してきます。

一人一人が状況を理解し、局面を考えられるようにとプレイの反省も選手に任せます。

○コーデイネート  
体力トレーニングとハンドボールをどのようにフィットさせるか。様々なアドバイスをどのようにうけとめるか。私の一番大きな役割と考えています。さらに、選手ひとりひとりの個性あるプレイをどのように組み合わせるか、ゲームをどのように組み立てるのか。監督としての楽しさがここにあるように思います。

# 指導者の条件

## 指導者の像

### 「初心者を、指導して23年」

大分電波高校監督 富松秋實



### 指導して23年」

早いもので、私も現在のチームを指導して、23年目になる。創部

当時全国大会出場を目標に、数多くの県外の監督さんに指導を受け、多くの練習試合を繰り返しながら学び、また自分なりに考え、いかに初心者者を全国のトップレベルに近づけるか、またそこまで初心者者を、引っぱっていきけるか、成功した場合、失敗した場合と繰り返しながら、今日迄、指導して来ましたが、大分電波高校は、毎年初心者（高校入学してから）を集めて指導しています。

しかし現在の全国レベルに初心者では、なかなか追いつけません。特に全国選抜大会には、間に合いませんので、全国選抜大会には、好成績をあげることが出来ません。6回出場して、3位2回ですが夏

までには、初心者でも追いつくことが出来ます。部員には、インターハイ目標で勝負する様に言い聞かせています。インターハイでは、15年連続17回出場、全国優勝1回、準優勝1回、3位2回と約4年に1回ベスト4に入賞しています。

全国で数多くの監督さんが、初心者を数多く集めて、努力育成されていると思いますが、参考になれば、私の練習方法の一部を報告します。

#### ①先を読む力

レギュラーは1年で作り、また1年でというように選手は1年で変わっていくのであるから、その年度の選手を作りながら、常に二軍の選手はその次の年の選手にする事。試合で対戦する相手の監督

が何を考えているか読む事。

#### ②与えられた選手での潜在能力を引き出す事。

毎年選手は変わっていくのである。好選手が毎年いけばよいが、そうは、行かない場合が多い。諦めないで粘り強く指導していけばある程度のレベルに近づくとと思う。

#### ③選手の精神面の強化

初めて、ハンドボールに取り組む場合1年間は、ハンドボールより中学時代やっていた部活動の方が良いと感じているが、2年目になると、ハンドをやったよかつたと感じる部員が多いと思う。私は部員にいつもいう事は、今から教える（3年間）は、将来大学、実業団にいても通用するハンドボ

ールを教えるから頑張つて、「ついてこい」と新チームを作る時に言っています。選手の目的がはっきりしていれば、厳しい指導をしても互に、コミュニケーションがとれていけば、部員と監督の間には、一線を引かないでもよいのでは……？

#### ④監督自身レベルダウン時耐える精神力

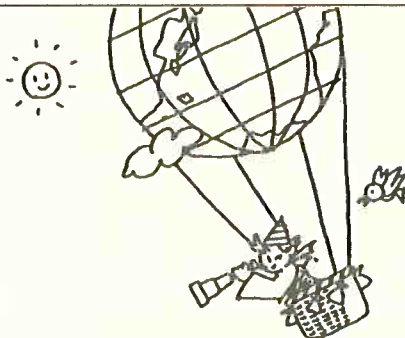
私は、初心者を、ミスを覚悟で2年間レギュラーで使い、2年目で勝負という方法を取っています。ですから1年目の選手のミスは、経験不足と覚悟しています。

#### ⑤チームの特徴を作る

1年目の選手には、ディフェンス中心に、指導し、2年目の選手には、オフENS中心に指導し、大分電波伝統の、アタックディフェンスとカサ型攻撃（ダブルポスト）を徹底して、練習し、毎日5kmのランニング等で、スタミナ、持久力を養い将来全日本メンバーで活躍してくれる選手になってくれるのを、夢に見て指導しています。

「戦績」インターハイ優勝1回、準優勝1回、3位2回、全国選抜大会3位2回、インターハイ15年連続17回出場

# 「まいにち、発見。」



おいしい発見。あたたかい発見。おしゃれた発見。  
あなたの毎日を新しくする。  
そんな素敵な発見の場でありたい。  
毎日が新しいイズミです。



本社 / 〒732 広島市南区京橋町2-22  
☎082(264)3211

# 男女ナショナルチームの更なる強化のために

## 協会一丸となつての支援を

スポーツ医学委員長 西山逸成

### 1 男女 ナショナルチームの強化の悩み

今般、日本ハンドボール協会の願望するナショナル男女選手の強化がナショナルチーム合宿期間内では達成困難であることや、目前の男子世界選手権（熊本1997年5月）、女子アジア選手権（1996年9月予定）に対応するためにはナショナル男女選手の所属チームスタッフの全面的協力が得られなければ、到底選手のコンディショニングが万全でなくなるどころか、「ナショナル合宿参加時の男女選手はトップコンディションではない」またナショナル合宿

### 2 男子 ナショナルチームの現況

や国際大会から「各所属チームに帰った時はガタガタになつていて、チームトレーニングや試合に著しく悪影響を与えている」という両者の共通の問題を解決しなければ、ナショナルチームの競技力水準の回復・向上は望むべくもない。という懸念は排除しなければ、この悪循環は続いていくだろう。

世界水準に引き上げようとの夢を託した。しかしながら、平成8年4月から熊本世界選手権大会まで412日間の期間に対してオルソ監督の掌握管理する合宿・遠征は150日間のみであり、各所属チームでの管理期間は262日間に及ぶことになる。チーム帰属期間中はナショナル選手は当然チームの核心的存在だから、トレーニングや競技会等ではチームの要として、休養も不十分なので、当然ナショナル遠征や合宿疲労も未解消のままであるので、傷害も完治し得ないのみでなく、次回ナショナル合宿にはむしろ重症状態という例も稀ではない。

表1 計画

行なわれるメニューは以下の通りである。

ウェイトトレーニング 上半身	週2回ペース
ベンチプレス	5RM*5SETS
ショルダープレス	10RM*5SETS
ターハンズカール	10RM*5SETS
クランチ	25with 10~20kg*5SETS
レッグレイズ	25*5SETS
下半身	
スクワット	5RM*5SETS
デッドリフト	5RM*5SETS

# 8月以降は上記メニューにジャークが取り入れられる。

スプリントトレーニング	週1回ペース
30m*10sets	
20-40-20m*10sets	各レスト2~3分

ジャンプトレーニング	週1回ペース
VERTICAL JUMP	10本連続*5sets
5STEPS	10本

有気的能力トレーニング	週2回ペース
45分間ジョギング	HEART RATE 145~150の間が目安
このトレーニングで最大負荷の血中乳酸は4mM以下、これ以上行なうとただの疲労蓄積作用になってしまう。	

### 3 男子 ナショナルチームの強化3課題

本男子世界選手権までにチームづくりを念願しているオルソ監督、ひいては日本協会としては重要な解決すべき課題といえよう。基本的に日本協会の強化姿勢とその実務担当の強化委員会の抜本的体質の問われる点ではあるまいか。

男子ナショナルチームの前に3つの課題が横たわっている。1つは体力づくり、2つは傷害の回復、

表2 全日本男子ハンドボールチーム

函館強化合宿 選手管理データ

熊本整形外科病院 Dr.坂口 満 Tr.西山圭介

氏名	日時	現在の陣容	処置・トレーナー活動
K.U	6月18日 ↓ 6月20日	急性腰痛症 歩行困難	ストレッチング・マッサージ 経皮的消炎鎮痛剤(モビラート・モーラス) (ボルタレン座薬50・インテバンSP:坂口Dr.指示)
	6月20日	頭部打撲・頸椎捻挫	意識障害(-) 頭部打撲・頸部痛Icing 頭痛・頸部痛→(投薬:セデス坂口Dr.指示)
K.I	6月18日 ↓ 6月20日	急性腰痛症 歩行困難	ストレッチング・マッサージ 経皮的消炎鎮痛剤(モビラート・モーラス) (ボルタレン座薬50・インテバンSP:坂口Dr.指示)
	6月18日 ↓ 6月20日	左前腕部痛	6/17よりボールを投げるとき左前内側に痛み有り 尺測手根屈筋部に痛みあり Swelling(+) 尺測手根屈筋筋腹に血腫あり1×3cm 練習前Taping・Stretching 練習後Icing・Stretching・massage 経皮的消炎鎮痛剤(モビラート) (インテバンSP:坂口Dr.指示)
S.T	6月18日 ↓ 6月20日	左大腿四頭筋痛 左大腿四頭筋疲労	Stretching・Taping
K.K	6月19日	左膝痛	半月板徴候 McM(-) ACL:hand end point 膝蓋腱付着部痛→ジャンパー膝 練習後Icing Stretching指導
	6月20日	右上腕二頭筋打撲	血腫(-) 断裂(-) Icing・Stretching・圧迫包帯
T.N	6月19日	右足関節痛(骨棘形成疑い) 右膝関節痛 (右膝外側半月板損傷疑い) 右中指PIP関節痛	Swelling(+) 不安定性(-) Icing 半月板徴候 McM(+) 右外側後面にClic(+) 水腫(-) Icing 数年前より痛みあり 不安定性(-) 要X-P
	6月20日	右足関節痛 (骨棘形成疑い)	Swelling+Icing・Taping(背屈制限) Taping・ガーゼ圧迫・ワセリン・イソジンガーグル
U.H	6月20日	右尺骨前方亜脱臼	Taping
T.F	6月19日	口腔内裂傷	Icing・ガーゼ圧迫・ワセリン・イソジンガーグル
O.Y	6月19日	右上腕三頭筋痛	血腫(-)筋疲労・筋硬結(+) Icing・Stretching

3つはコンディショニングを支える栄養管理がある。  
(1)体力づくりについて(表1)  
ナショナル男子の体力水準は決して高くない。総括としては、体重は増加したが、筋力、全身持久力は向上していない。合宿期間中を通じてオルソメニエールが行なわれているが、種目、実施要項及

び成果は表1の通りである。  
(2)傷害の現況及び特性(表2)  
最も近時の函館合宿時のメデイカルチェックによる管理データである。参加ドクターの所見によれば、「ナショナルチーム結成以来自己管理によるコンディショニングは定着しつつあるので、トレーニング実施前のウォーミングア

ップとストレッチングは十分に行なわれているが、トレーニング後のクーリングダウンは不十分である」と指摘している。クーリングダウンの意義が疲労の回復、すなわち翌日のトレーニングのためのリフレッシュであることが理解できれば十分な整理運動を実施するようになつてこよう。

(3)栄養摂取状況  
ハンドボール競技がコンタクトスポーツであることから、現在の男子ナショナルチームの平均体重を85kgから90kgに増加させる。そのためには、日間摂取熱量5000kcal(体重1kgあたり60kcal)とする。したがって合宿期間中、朝・昼・夕・夜の4回食に加えて午前、午後の各トレーニング中に休憩時を活用した補食(サンドウィッチ、牛乳、果物など)により6回喫食としている。  
この栄養摂取によって2週間の第1次合宿によって選手全員2.0〜4.7kgの体重増加を示した。  
この急速な体重増加の当然問題点として、体脂肪の増加による内科的疾患が心配されるので、2週間の第1次合宿終了10日後に血液性状を検査した。検査結果は表3に示す通りで、現状では問題はなすが体脂肪率の増加傾向は認められている。体重増加の目的は筋肉量の増加であることから、良質の筋肉生成としての蛋白質摂取が一般健常者(1g/体重1kg)に対してナショナル選手は、3倍以上(3g/体重1kg)すなわち約300g(平均体重90kg)の蛋白質(獣肉・魚肉・植物)の摂取が必要となつてこよう。もちろん、ミネラル・ビタミンも栄養摂取バランスとして不可欠であるので、食

変革と創造  
で  
未知なる領域へチャレンジ



**OSAKI**  
大崎電気工業株式会社  
東京都品川区東五反田2-2-7 〒141  
TEL.03(3443)7171 FAX.03(3447)5844

品添加物として錠剤等の摂取は当然避けた食品摂取を基本とすべきことは、近時のドーピング観念からも守らなければならないスポーツ選手の倫理でもあろう。勿論オulun監督ならずともJOCの指導方針でもある。

以上のような喫食習慣による5000Kcalの栄養摂取をナショナル合宿から離れた各所属チームでのトレーニング期間中には非継続する必要があろう。現状では、各所属チームからナショナル合宿参加時の体重は確実に減少(約2kg前後)している。

その理由は、次の現実からやむおえないのでは。選手たちの各所属チームでの栄養管理が、ともすれば従来の朝食(トースト・コーヒー)、昼食(社員食堂)、夕食(炉端焼・ビール、家庭食)の3食では到底5000Kcalの摂取は不可能ではあるまいか。推測(現在ナショナル選手の栄養調査結果を集計中)では3000~3500Kcal水準と想定されるが、トレーニングによる消費量と栄養摂取量とのエネルギー出納は当然マイナスという結果にはかならない。


近日中に、トレーニング・栄養・休養のパターンから日間の基本メニユーを2000円前後(月間5万円以上はかけられないという選手の経済的背景を考慮して)の

表3 ハンドボール・ナショナル選手の血液検査結果のまとめ

<p>○女子選手(16名)に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●典型的な鉄欠乏症貧血を2名に認め、うち1名は重症貧血であった。さらに1名の貧血(原因は不明)を認めた。</li> <li>●貧血ではないが体内の鉄欠乏状態を呈している選手が多かった(血清フェリチン低値)。</li> <li>●総コレステロール高値、尿酸高値、総蛋白低値など、脂質あるいは蛋白質代謝に異常を示す選手も認めた。</li> <li>●肝機能や腎機能検査項目は、すべて正常範囲であった。</li> </ul> <p>**以上より、食事摂取内容、トレーニング内容、休養状況などの総合的な健康管理体制の検討が必要と思われる。</p> <p>○男子選手(10名)に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●合宿中にかなりの高カロリー食を摂取させていた時期の検査結果であった。</li> <li>●中性脂肪がやや高値の1名を除き(直前の食事摂取の影響?)、高脂血症は認めなかった。</li> <li>●総コレステロール低値を1名に認めた。</li> <li>●総蛋白低値を2名に認めた。</li> <li>●血糖やや高値を1名に認めた(食後どれくらいに採血したか?)</li> <li>●血清鉄および血清フェリチン値はすべての選手で正常範囲にあったが、4名では血清フェリチン値がやや低い傾向を認めた。</li> <li>●GOTがやや高値の1名を除き(運動トレーニングの影響か?)、肝機能や腎機能異常は認めなかった。</li> </ul> <p>**以上より、合宿中の高カロリー食の悪影響は認められなかった。貧血や栄養摂取状況の悪かったということがこれまでの調査から判明しており、運動トレーニング内容との兼ね合いもあるが、この合宿中の食事摂取内容はそれほど誤っているようには思われない。</p>
--

表4 試合期の栄養

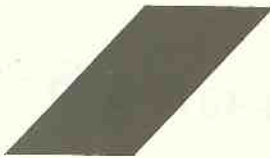
期区分	栄養の目標	食事内容	留意事項
トレーニング期	①体組織成分の損耗の補充 ②エネルギー代謝、生理機能の維持 ③体力(骨格筋・内臓)増強 ④貧血予防	1. 配分比 (脂質) (蛋白質) (糖質) 35% 15% 50% 2. ミネラル(カルシウム・鉄分) カルシウム — 1~2g/日 鉄 分 — 25~3g/日	発汗量 3l/日
調整期 試合当日	最大限の競技能力を向上 ①グリコーゲン量(骨格筋・肝臓)の保持増加 ②体力の低下防止 ③ビタミン・ミネラル・水分の補給	1. 配分比 (脂質) (蛋白質) (糖質) 10~20% 10% 70~80% 2. 食事時間 — 試合の2~3時間前 3. 消化 — 加熱処理 4. 水分 — 果汁・みそ汁	グリコーゲン 増加(500g)  体水分増加 (1.5kg) (炭酸飲料?)
トレーニング 質・量の減少 (-500~1500Kcal)			



## スポーツがやめられない!

セノーは創業以来約90年、健康とスポーツの世界に一貫してかわり、常にNo.1をめざしている総合スポーツメーカーです。スポーツ器具を通じて、体育の隆盛・向上に貢献し、明るいスポーツ社会を創り続けることこそ、社会的使命だと考えています。

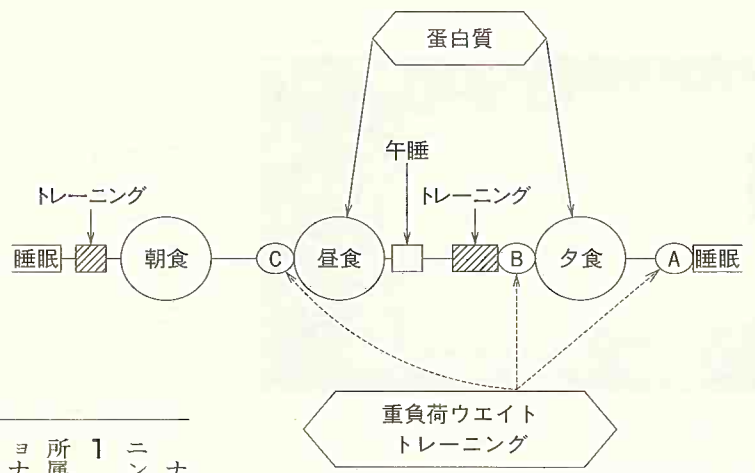
セノー株式会社  
〒140 東京都品川区南品川2-2-13  
Tel (03) 5461-4111 Fax (03) 5461-4151



コストで作成する予定にしている。今後スポーツ医学委員会のなすべきこととして本来ならばスポーツ栄養士をナショナル合宿に帯同したり、各所属チームを巡回指導したりすることも対策すべきことであろう。またチームのスタッフも選手もつと栄養管理に関心を持ってほしいこととして、50000kcalの熱量を単に摂取すればよいのではなくて、①栄養素の構成比は基礎トレーニング期間と試合シーズンとは、その配分は炭水化物(糖質)を軸に変えるべきである(表4)。②摂取量は、ナショナル選手の体重差が75kg〜98kgと23kgの差があるように、全員が等質・等量では健康上の被害者は、計量者になってこよう。(栄養指導不十分のツケを選手に廻すな)。

③筋力トレーニングの成果は、食事と休養(睡眠)にあることを再認識すべきであろう。すなわち、筋力トレーニングの時期は、午前午後のトレーニング終了前(技術トレーニング終了後)15〜20分間で実施し、昼食、夕食で良質の食品摂取を終え、休養・睡眠というパターンで初めて筋肉づくりが期待されよう。

休養はできるならば睡眠という筋力づくりに最良の条件としての成長ホルモン分泌の生ずる深い眠り(Rem睡眠)を経験させるとよ



重負荷トレーニング：  
 筋肉づくりの促進作用が強い  
 食事前にトレーニングを！  
 睡眠前にトレーニングを！  
 蛋白質を重視：  
 筋肉づくりの材料であるアミノ酸を筋肉に供給

図1 筋肉づくりのタイミングとリズム  
 <筋肉づくりの効果的なすすめ方>  
 (鈴木正成, 日本放送出版1990)

**4**  
**ナショナル男子  
 選手と所属チーム  
 スタッフとの  
 連携について**

い。また体重の急速増量のサンプルとしての相撲の力士(チャンコ鍋、昼寝)やトシガのラガー(タロ芋)もナショナル選手の筋肉量、体重の増加に示唆を求めてみたい。

コンディショニングの検討講習会で、所属チームスタッフと検討会を実施した。  
 報告は以下の通りである。

- ナショナル選手のコンディショニングについての講習会報告
- 1 目的**・ナショナル男女選手所属チームスタッフに対してナショナル合宿期間以外におけるNA選手のコンディショニングとしての体力トレーニング、栄養管理及び傷害の医療ケアについて更に十分な管理を要望する。
- 2 項目**：
- (1) ナショナルチームのトレーニング現況
  - (2) 男女選手の体力測定・メデイカルチェック結果の個人処方
  - (3) 所属チームスタッフとスポーツ医学委員会との連携要項
- 3 日時**・平成8年6月20日  
 13:00〜17:00 講習会  
 18:00〜21:30 国際大会研修
- 4 場所**・広島市東区スポーツセンター会議室

**5 講師・参加者**

- 【講師】  
 野田 清・強化委員長  
 西山逸成・スポーツ医学委員長  
 加藤 公・鈴鹿厚生総合病院ドクター
- 【参加者】  
 菅田信也、山本興道、高村誠一、宮田裕己、西山 清、山村敏之、河原隆雅、小寺勝矢、荷川取義浩、成澤晃子、木下晴雄、田中秀昭、西窪勝広、榎塚正一、藤原 侑、津川 昭、緒方嗣雄、水上 一、田口 隆

**6 主要成果及び課題**

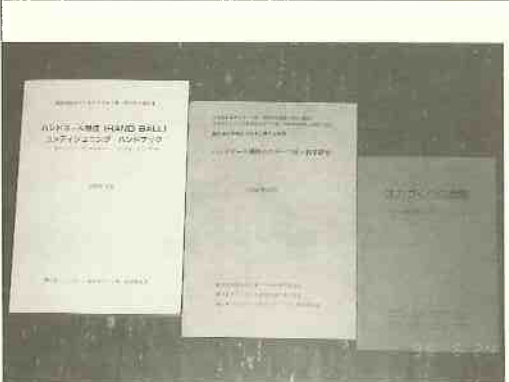
- (1) 今後のNA選手所属チームとの連携要項
- ① 体力づくりの現状把握のためにT・Drがチーム巡回するとともに、各地医療担当S・Drがチームを巡回チェックする。
- ② 日本リーグ、日本選手権大会等には、大会開催地区S・Dr及びTrがナショナル選手の医療ケアを担当する。
- (2) ナショナル選手のコンディショニングのための具体策として
- ① ナショナル合宿以外の期間の栄養基本メニューを作成・配布する。
- ② ナショナル男女選手個々に対する体力・傷害状況のフィードバ





以上、ナショナル選手の各所属

- ①大会、合宿等の派遣依頼には、Dr、Trは必ずすることにより、メディカルサポート関係者やDr、Trの所属病院等の意識が高まり、理解が深まる。
- ②T、Drの任務は体力づくりの担当者でもあるので、各種別(ナショナル男女のみでなく、男女B、男女J)の選考合宿に加えられるたい。
- \*本講習会は意義があるので、適時、計画的実施を考える。



## 競技力向上のためのスポーツ医・科学研究資料集が発行される

チームでのコンディショニングの参考として、体力、トレーニング及び栄養の3点について課題と願

望を申し述べたが、日本ハンドボール界期待のオルソン監督に夢を託してしまっていることなので、

是非、我々関係者一丸となったサポートをやってみようではありませんか。

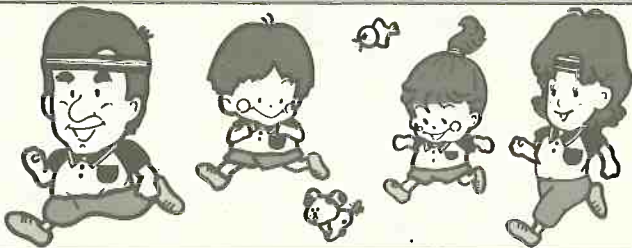
今般、スポーツ医・科学委員会  
の事業計画にもとづく日本体育協  
会競技力向上事業として、すでに  
発売いたしました「スポーツ医・  
科学研究」につづぎ、「コンディ  
ショニング ハンドブック」と  
「体力づくり」の編集・作成が完  
了いたしましたので、案内申し上  
げます。

- ・コンディショニング
- 【内容】
- 第1章 体力現況と体力づくりの方向について
- I トレーニングの方向
- II ナショナル男女選手体力の国際比較
- III 男子ナショナルチームの体力づくり
- IV 女子ナショナルチームの体力づくり
- V 青少年男女選手の体力現況
- VI ハンドボール競技選手の各機能別トレーニング
- 第2章 健康管理状況
- I メディカルサポートの現況と将来方向について
- II ドクター・トレーナーのチーム帯同報告
- 〈ドクター〉
- 〈トレーナー〉
- 第3章 コンディショニングのための各種研究報告
- I ナショナルチームの強化策と成果
- II ゲーム分析
- III ハンドボールの生理学
- IV 動作分析
- V 心理

- 第4章 ドーピングコントロール
- I 日本国内の活動現況
- ☆体力づくりの実際
- ハンドボール選手のウェイト・トレーニングの一例
- 【内容】
- 体力づくりの実際
- 1、個人処方基準
- 2、負荷強度と反復回数
- 3、トレーニング期別の基準例
- 4、トレーニング効果の評価
- 5、注意事項
- ハンドボール競技選手のウェイト・トレーニングの一例
- 1、目的
- 2、ウェイト・トレーニングを始めるためのトレーニング器具
- 3、バーベルを使う時の心得
- 4、ウオームアップ
- 5、ウェイト・トレーニング時の負荷の目安
- 6、運動種目

**申し込みについて**  
 勸日本ハンドボール協会宛おたずね下さい。  
 頒価  
 「コンディショニング ハンドブック」1冊 2700円  
 「体力づくり」1冊 5000円  
 「スポーツ医・科学研究」(既に発売) 1冊 2000円

## あなたの元気応援します。



- 滋養強壮・虚弱体質
- 肉体的疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害・発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給



湧永製薬株式会社 お取扱い店のお問合わせは ☎ 0120-39-0971

# 「タイムアウト制、監督の腕次第」

企画・広報委員 早川文司

アトランタ五輪の熱戦譜が連日、BSで伝えられている。そこに日本ハンドボールの姿が無いのは、なんとも歯がゆい限りだ。この悔しさは2000年のシドニー大会で晴らしてもらえるものと、TVを見ながら願っている。

ところで、アトランタでは、来年の本格スタートを前に、チャージド・タイムアウト制がテスト採用されている。TV局のCM挿入という理由も一面にはあるようだが、5月の男子欧州選手権（スペイン）でも試されたし6月のヒロシマ国際大会では、国内で初めて試験的な適用された。

このタイムアウト制は、いわゆるマイボールになった時点ですることが出来るが、広島ではオフィシャルがタイミングを間違えて笛を吹いたりする不慣れも見受けられたが、まずまずのスタートだった。

この大会を見て感じたことは、ルールの採用には一長一短があるようだ。そうかといって、決まった以上は有利に導くことは当然である。

観客側から言えば、30分間緊張の連続から解放され、一瞬ホッとする時間の余裕が取れることだろう。再開後、試合の流れがどう変わるかも興味がある。ベンチは悪い流れを断ち切れる

効果があるし、直接選手に指示できる利点が生まれる。

一方、せっかく盛り上がった試合が途切れるという点ではマイナス面といえよう。

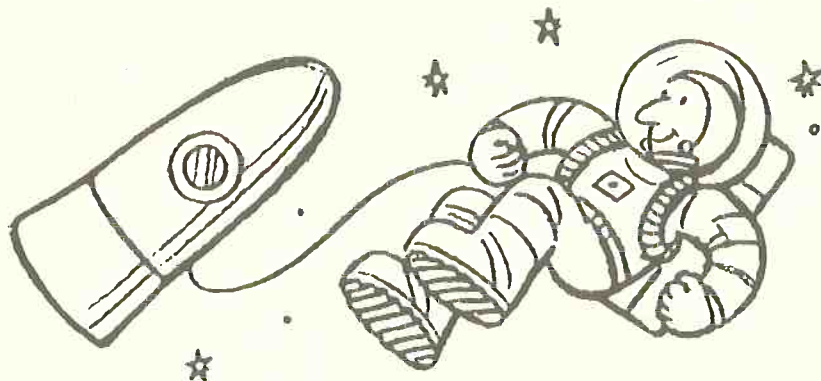
檜塚・日本代表監督は「1分間という時間をどう有利に使うか、新たな仕事だし、勉強にもなる」と印象を語っていた。

運営面について西元・広島県協会理事長は「興味はあるが、1日に数試合の場合は時間設定が難しい。すべての適用はどうか」と訴えている。

ともかく、タイムをとるタイミングを監督がうまくつかんでくると、観客へのアピールにはいい材料かもしれない。戦術・戦略と合わせチャージ・タイムアウトも監督の腕次第で新鮮味が加わり、ファンの興味を呼ぶことになると感じた。

フリースロー  
Free Throw

そこに大同特殊鋼がいるから。  
ほら、ね。宇宙の夢もどんどん近くなる。



私たちは、航空宇宙や自動車、  
エレクトロニクス、エンジニアリングなど、  
さまざまな分野で未来を拓いています。

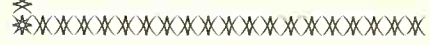
大同特殊鋼  
DAIDO STEEL

本社 〒460 名古屋市中区錦1丁目11-18(興銀ビル)  
東京本社 〒105 東京都港区西新橋1丁目7-13(大同ビル)  
大阪支店 〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目1-1(興銀ビル)

順天堂大学ハンドボール部監督 東根明人

# 長期を見通したドイツの

# トレーナ育成システム



育と称する講習会を受講することが義務づけられています。次に、それぞれの対象となるクラスは、Cが14才以下、BはRegionalligaまで、Aが1部、2部リーグとなっています。したがって講習内容も、それぞれのクラスで要求される技術・戦術そしてコーチング論等になっています。たとえば、同じシュートでもCの段階ではでてこなくて、Bになって出てくる種類があり、同様のことがその他の項目にもいえるのです。即ち、カリキュラムとでもいうべきテーマの体系化と標準化が明確になされているということです。

また、DHBジュニア担当であるK. Langhaff氏(元DDRナショナルトレーナ)からジュニア強化あるいは育成に関する講義がありました。6年計画で、13、14才クラス(C-Jugend)の時から講習会や試合等をどのように実施していくか、といった内容でした。ヨーロッパと世界選手権に照準を合わせた長期プランであり、しかもそれを6年前に溯って立案しているのです。残念ながらわが国では、まだまだここまで達していません。いつの日にか日本も、このような状況になることを夢見ています。

註) 文中の「トレーナ」は、日本でいう監督あるいはコーチを意味します。

ました。

さて次に、Leipzig大学における研修についてですが、現在L.Fahrman教授が担当するITK(International Trainer Kurs:国際指導者講習会)に参加しています。これは、4月から7月下旬までの4カ月間に渡って行われる公開講座です。ハンドボール以外には、バレーボール、サッカー、テニスそして陸上競技のコースがあります。ハンドボールには、アルゼンチン、メキシコ、ウルグアイ、コスタリカといった国々から男女合わせて12名の指導者が受講しています。月曜日から金曜日まで朝7:30~9:00、9:30~11:00、11:30~13:00の日程で、実技、理論、トレーニング論、スポーツ心理学、スポーツ医学そしてドイツ語といったプログラムが繰り返されています。外来講師による講義やNationalチーム、Bundesligaのトレーニング及びゲーム観戦もあり、その内容は決して飽きることはなく、毎日新鮮に取り組むことができます。ただ私は、火曜日に関してはW.D.Neiling教授とマンツーマンのゼミナールをしていただいています。彼とは、ドイツにおけるトレーナシステム、強化システムそして技術・戦術論を中心にディスカッション形式で進めていただいています。ドイツ統一後の諸問題も織り交ぜながら(特にSport Politik:スポーツ政策)進められますから、日本では考えてもみなかったテーマも時に飛び出したりしますので、なかなか充実した時間となっています。この他、N.S.Schlegel博士の講座が6月からある予定になっていますので、こちらも受講してみたいと思っています。彼は、ゲーム分析をはじめとするコンピューターの専門家でもあり、多くの卒業生は彼からその手ほどきを受けているといえます。また、彼の開発したソフトをめぐっての話題もあり、今から楽しみにしています。

最後にトレーナ育成システムについてですが、先日HVS(ザクセンハンドボール連盟)のR.Meyer氏と会うことができ、具体的な話を聞いたり、資料を手に入れることができました。それによりますと、ドイツではCトレーナ(LV担当)、Bトレーナ(RV担当)、Aトレーナ(DHB担当)、そしてKöln体育大学で開催しているDiplomトレーナに分類されています。それぞれ4年、3年、2年の資格有効期限があり、毎回更新時には再教

はじめに、前号でも触れましたDHB-Pokalについて書いてみたいと思います。ドイツの国内大会は、BundesligaとDHB-Pokalの2つがあります。前者(1950年第1回)は、リーグ戦形式のホームアンドアウェイ方式であり、後者(1975年第1回)は、トーナメント形式のKO方式で行います。Bundesligaの勝者をMeister(チャンピオン)と呼び、DHB-PokalのそれはSieger(優勝者)と呼ばれており、リーグ戦の勝者が真のチャンピオンあるいはホームアンドアウェイでやらないと……という批評はあるにしても、その扱いは相当大きなものです。DHB-Pokalは、日本で言うとサッカーの天皇杯のような大会です。1部リーグは1回戦がシードされ、優勝するためには残り6試合に勝たなければなりません。その期間はBundesligaの合間をぬってやる関係上、4~5カ月かけてやります。この大会で、私の研修先であるSC Magdeburg(男子)とVfB Leipzig(女子)が、共にドイツ統一後初優勝を飾ったのですから、何にも例えようのない喜びを得ることが出来ました。研修も終盤にさしかかり、チームスタッフ、プレーヤーそしてファンの人たちとも仲良くなり、まるで我がことのように皆と抱き合っただけの瞬間の歓喜を味わうことができました。ところで、Bundesligaについて少々付け加えたいと思います。すでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、その組織について述べたいと思います。Bundesligaは、1部と2部リーグがDHB(ドイツハンドボール連盟)、Regionalligaは5つのRV(地域連盟)そしてOberliga以下は22のLV(地区連盟)が管轄するという構成になっています。特にOberliga以下にはLandesliga、Bezirksliga、Bezirksklasse、KreisligaそしてKreisstantklasseといったクラスがあり、様々な人々がハンドボールをすることが、可能なシステムになっています。勿論これは大人を対象としたリーグですが、これ以外に18才以下のクラスがあるのは言うまでもありません。そして、昨年の段階でクラブ数約5,300、チーム数約34,000、会員総数約820,000人という組織を形成しているのです。私は、Oberliga以下の組織については知らなかったのですが、この話を聞いたときは、これ程までも細分化され、いろいろな人たちが参加出来るシステムになっていることに改めて感心されられ

## 賛助会員だより

# 日本協会・賛助会に

## 望むこと

後藤恵理子



パソコン通信仲間と(左から2人目が後藤さん)

私と賛助会の出会いと言えば、もう10年を超えてるんですね。忘れもしない1985年1月の「日本リーグ・オールスター戦」。なぜ忘れないかと言うと、自他共に認めるハンドボールクレイジーの私が、なんと試合を見るのが1年

振りくらいだっただんです。当時長野県に住んでいた私は、とてもハンドボールの情報に飢えてました(長野県はあまり盛んではないので、全然情報が入ってこないんです。今だったら完全に禁断症状を起こしてます)。だから、オール

スター戦は「どうしてもハンドボールを見たー！」と見に行った、念願の試合だった訳です。この会場で、「ハンドボールの情報を手に入れたいあなたに」と書かれた賛助会の入会申込用紙を見て、「これだ！」と入会を決意。さっそく手続きを済ませたのですが、実は期待するほどの情報は、流れてこないんですよね。当時も今も。特典と言えば、日本協会主催の試合をフリーパスで観戦できる

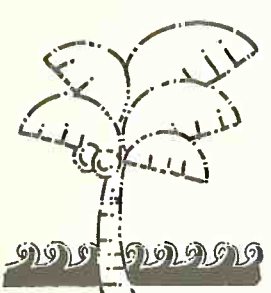
ことだけ。もちろん、私にとってはこのメリットが大きくて、ずっと会員を継続してるんですけれど。さて、その賛助会。10年も会員をやっている、このセリフはないんじゃないかという気もするんですが、「何やっている団体なの？」って感じですよ(つて無理矢理合意を求めちゃいけないか)。どうせだったらハンドボールのサポートクラブみたいにするといいのに、なんて思っちゃいます。例えば全国大会・国際大会のたびに、観戦・応援ツアーを組むとか、集いを開催して会員同士のコミュニケーションの拡大を図るとか、会員同士だけじゃなくて選手とのコミュニケーションも図れたら最高だななんてね。だとしたら、学生でも気軽に登録できるように、年会費は今の半分くらいにしないとだめでしょうね。外国選手を前にして、サインはもらうは握手はするはという、熊本のジャパンカップで見られた光景を、全面的にバックアップしたりして。今そこで「なにをミーハーなことを」と思

ったあなた、ミーハーのパワーを侮ってはいけません。スポーツのメジャー化にミーハーの存在は不可欠なんですから……とミーハー論を始めると長くなるので別の機会(はないでしょうが)にゆずるとして。要は、賛助会の本来の目的がわからないというのが正直な感想ですね。だから退会する(継続しない)人がけっこういたりするんじゃないですか? 今後賛助会を発展させて行くのであれば、ファンクラブ的な要素を持たせるのがいいんじゃないでしょうか。もつと会員の持つパワーをうまく活用できるようにすると、賛助会は活気のある団体になって来るでしょう。

元はと言えば、大いなる情報を求めて入会した賛助会。今は機関誌のようなペーパーメディアからTV放映などのマスメディア、ここ数年でかなり普及が進んだファックスサービス、さらにはインターネットを利用したマルチメディアまで、利用できるメディアは山ほど。特に、最近流行のインターネットは、大いに活用できますよね。なんせ、情報さえ用意しておけば、ほしい人が自分で取りに来るのだから。しかも日本国内に限らず、全世界からアクセスされることになっちゃうんですよね。自宅の、または職場のパソコンからひよいとのとぞくと、ドイツやデンマークのリーグの情報まで得られたりするんですよ。こんな便利なもの、どんどん使わなくちゃ。例えば、各種大会の日程と結果、各都道府県の登録チーム、全日本チームの活動状況や動向、一般ファ

ンにしてみると、知りたいことは山盛いっぱい。いろんな情報が出る仕組作りというのを、どんどん推進して行ってほしいものです。差しあたっては、やはり来年の熊本ワールドチャンピオンシップ関係でしょう。現在熊本県立小川工業高校の岩永先生が、ご好意でワールドチャンピオンシップの情報をインターネットへ流してくださいっています。仮にもワールドチャンピオンシップですよ。その情報の発信を、特定の人の好意に頼らざるをえない状況に、ちよつと寂しいものを感じます。

ずいぶん好き勝手なことを書かせていただきましたが、全部ハンドボールのメジャー化作戦には、必要なことだと思つてます。日本協会と賛助会の今後の発展を、おおいに、期待しています(最後までお付き合いいただきましてありがとうございます)。



# 第1回ジャパンオープンハンドボールトーナメント組み合わせ決まる

第1回ジャパンオープンハンドボールトーナメントは、8月11日～14日まで、大阪堺市・高石市の5会場で開催されるが、その組み合わせが以下のように決定した。

## (成年男子)

[日程]8月11日(日)～8月14日(水)

[会場]

金・堺市金岡公園体育館  
大・堺市立大浜体育館  
初・堺市立初芝体育館  
商・堺市立商業・第二商業高等学校体育館



## (女子の部)

[日程]8月11日(日)～8月13日(火)

[会場]大阪府立臨海スポーツセンター



スポーツマンのベストコンディションを  
お約束する、シャンピアホテル。

★スポーツ団体特別料金制度をご利用ください。



### シャンピアホテル名古屋

〒460 名古屋市中区錦2-20-5 ☎052(203)5858代表

●交通 地下鉄東山線伏見駅より東へ徒歩5分  
地下鉄東山線栄駅より西へ徒歩8分 タクシー(名古屋駅より8分)



### シャンピアホテル大阪

〒530 大阪市北区南扇町6-23 ☎06(312)5151代表

●交通 新幹線新大阪駅からタクシーで10分  
大阪空港からタクシーで20分(阪神高速) 大阪駅から扇町まで徒歩12分

設備のご案内 ●ミーティングルーム ●全自動洗濯機・乾燥機設置 ●VHSビデオ設置

●シャンピアホテル赤坂 ●シャンピアホテル青山 ●シャンピアホテル防府  
東レエンタープライズ株式会社

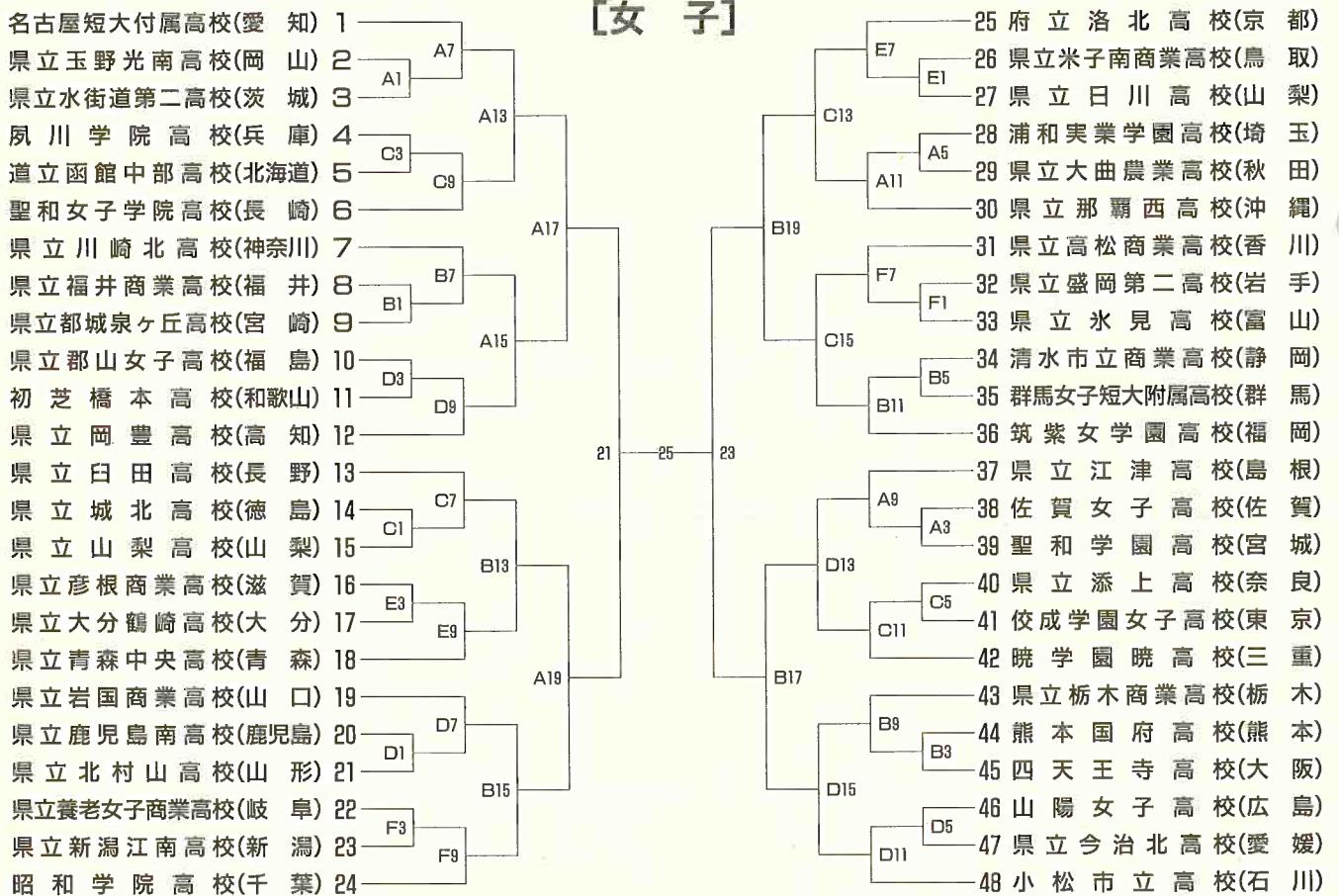
# 高松宮賜杯 第47回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

塩山高等学校グラウンド 8月2日~8月5日 塩山市民体育館 8月6日~8月7日

## 【男子】



## 【女子】





茨城大	20	17	国士館大
東女大	27	20	日女大
日体大	20	20	筑波大
国士館大	21	17	茨城大
東女大	22	15	日女大
日体大	20	18	筑波大
日女大	17	16	茨城大
筑波大	25	13	国士館大
東女大	30	22	日体大
日女大	21	11	茨城大
筑波大	21	18	国士館大
東女大	25	16	日体大
日女大	23	11	国士館大
日体大	26	13	茨城大
東女大	23	12	筑波大
日女大	17	12	国士館大
茨城大	21	19	日体大
東女大	25	25	筑波大

東海大	25	13	聖徳大
①東海大			
②聖徳大			
③学芸大			
④理科大			
⑤玉川大			
⑥千葉大			
⑦昭和薬科大			
順天大	25	9	大東大
文教大	16	11	国際大
都留大	32	6	医科大
都留大	14	7	大東大
順天大	40	11	国際大
文教大	19	16	東大
文教大	19	16	大東大
国際大	24	5	医科大
順天大	20	15	都留大
順天大	28	13	文教大
大東大	16	3	医科大
都留大	22	20	国際大
都留大	19	16	文教大
順天大	38	4	医科大
国際大	18	13	大東大

中国四国学生春季リーグ

松山大	27	19	愛媛大
松山大	20	19	高知大
岡山大	16	16	愛媛大
岡山大	17	14	高知大
愛媛大	16	16	高知大
①広島経済大			
②広島大			
③松山大			
④岡山山			
⑤愛媛大			
⑥高知大			
山口大	22	14	広島工大
近畿大	14	12	山口大
山口大	18	12	山口大
山口大	29	12	徳島大
山口大	33	11	広島修道大
広島工大	19	12	近畿大
広島工大	22	12	香川大
広島工大	22	12	徳島大
広島工大	24	8	広島修道大
近畿大	19	17	香川大
近畿大	25	9	徳島大
近畿大	22	11	広島修道大
香川大	22	19	徳島大
香川大	32	9	広島修道大
徳島大	30	10	広島修道大

岡山商大	16	15	四国大
岡山商大	33	9	四国学院大
四国大	23	8	四国学院大
川崎医福大	24	14	島根大
岡山商大	18	17	徳島文理大
鳥取大	19	13	四国大
徳山大	32	3	四国学院大
①川崎医療福祉大			
②島根大			
③岡山商科大			
④徳島文理大			
⑤鳥取大			
⑥四国大			
⑦徳山大			
⑧四国学院大			
①広島大			
②岡山県立大			
③川崎医療福祉大			
④四国大			
⑤愛媛大			
⑥岡山山			
⑦岡山山			
⑧岡山山			
⑨岡山山			
⑩岡山山			
⑪岡山山			
⑫岡山山			
⑬岡山山			
⑭岡山山			
⑮岡山山			
⑯岡山山			
⑰岡山山			
⑱岡山山			
⑲岡山山			
⑳岡山山			
㉑岡山山			
㉒岡山山			
㉓岡山山			
㉔岡山山			
㉕岡山山			
㉖岡山山			
㉗岡山山			
㉘岡山山			
㉙岡山山			
㉚岡山山			
㉛岡山山			
㉜岡山山			
㉝岡山山			
㉞岡山山			
㉟岡山山			
㊱岡山山			
㊲岡山山			
㊳岡山山			
㊴岡山山			
㊵岡山山			
㊶岡山山			
㊷岡山山			
㊸岡山山			
㊹岡山山			
㊺岡山山			

# サポーターとテーピングは、 人類の知恵です。

サポーターもテーピングもアイシング  
サポーターもすべて私たち人類が生み出した偉大な知恵です。  
人間の肉体がスポーツという  
苛酷な試練にも耐えていけるように。  
怪我をしたり、故障をしたときでもすみやかに回復し、さらに身体を守りながらスポーツが続けられるように。  
D&Mは、サポーターやテーピングを通して人類のスポーツボディを進化させ続けます。



株式会社 **D&M** 商会  
Sports Tape & Supporter  
〒103 東京都中央区日本橋馬喰町2-2-4  
電話 03(3666)0461(代) FAX.03(3666)0990



# トピックス

## 全日本男子チーム 海外へ武者修行

オルソン全日本監督が今春国内での合宿をスタートし、第4次6月函館、第5次7月北海道・紋別にて強化合宿を終え、着々とチームが形づくられている。木浪(中村荷役)が都合上、全日本を辞退したのは痛い、新加入のメンバーがチームにも慣れ成果をあげているのは心強いかぎりである。

そして、いよいよチーム力を試すために今夏ドイツ、フランスに遠征する予定である。この遠征に

## 96年男子ジュニアヨーロッパ選手権大会出場国決まる

グループA  
クロアチア、デンマーク、チェコ、ポルトガル、フランス、スウェーデン

グループB  
スペイン、ユーゴスラビア、ギリシャ、ベラルーシ、ルーマニア、ロシア

96年男子ジュニアヨーロッパ選手権大会は8月16〜25日まで、ル

## 8月の行事予定

◇第47回全日本高校選手権大会

8月2〜7日 山梨県・塩山市  
塩山市民体育館

0553-321116  
塩山高校体育館

◇第39回全日本教職員選手権大会

8月6〜9日 埼玉県・草加市  
スポーツ健康都市記念体育館

0489-221151  
三郷市  
三郷市総合体育館

0489-531612  
◇第29回全国高専選手権大会

8月10〜11日 熊本県・熊本市  
熊本県立総合体育館

096-3561233  
◇第1回

ジャパンオープントーナメント  
(男子の部)

8月11〜14日 大阪市・堺市  
堺市金岡公園体育館

0722-2112086  
(女子の部)

8月11〜13日 大阪市・高石市  
大阪府立臨海スポーツセンター

0722-6314035  
◇第25回全国中学校大会

8月23〜25日 岐阜県・岐阜市  
岐阜メモリアルセンター

058-2331882

## CONTENTS 8月号

荒川清美氏オリンピックオーダー受賞	1
日本協会だより	2
第2回ヒロシマ国際大会	4
ドイツ・ハンドボール感想記	7
光島 磯雄・高橋 鉄	
熊本世界選手権だより	12
第4回アジアジュニア選手権大会	14
井上 亮一	
国際レフェリーとして	15
武智 誠治・松原 誠起	
第2回世界女子学生選手権	17
私のチームづくり	18
三辻 訓	
指導者の条件	19
富松 秋真	
男女ナショナル選手の更なる強化のために	20
西山 逸成	
フリースロー	25
早川 文司	
ドイツ研修報告7	26
東根 明人	
賛助会員だより	27
後藤恵理子	
第1回ジャパンオープントーナメント組み合わせ	28
第47回全日本高等学校ハンドボール選手権大会	29
各地学生春季リーグ戦(関東学生・中四国学生)	30
トピックス・8月の行事・もくじ	32

## 職を探しています。

フランスのプロフェッショナル選手兼トレーナーです。

氏名: ZIVOVIC Boban  
住所: 20, Place de la Republique 80800 CORBIE FRANCE  
生年月日: 1961年7月28日  
国籍: ユーゴスラビア  
身長: 190cm  
体重: 92kg  
ポジション: 左フロッター、ハーフセンター  
免状: ハンドボール トレーナー(ユーゴスラビアにて)、BF3(フランス)  
話せる言語: セルブ、フランス語、英語少々  
過去所属クラブ: 1, MKS Smederevo

- 2, Proleter Naftagas-Zrenjanin Iere Div
- 3, L'Etoile Ronge de Belgrade Iere Div
- 4, Kristai-Zajecar Iere Div
- 5, Beausoleil
- 6, E.S. Villenève-Loubet
- 7, H.B. Corbie

トレーナーとしての所属クラブ: M. Obradovic Iere div. Yougoslave  
M. Milatovic Iere div. Yougoslave  
M. J. Stankovic Iere div. Yougoslave

私は次の選手とゲームをしました:

M. Rnic, J. Elezovic, E. Velic, J. Cvetkovic, D. Lukic (division Yougoslave)  
フランスのH.B. Corbie N3(リーグ戦4)'95-'96季第3位のプロフェッショナル選手兼トレーナーであります。

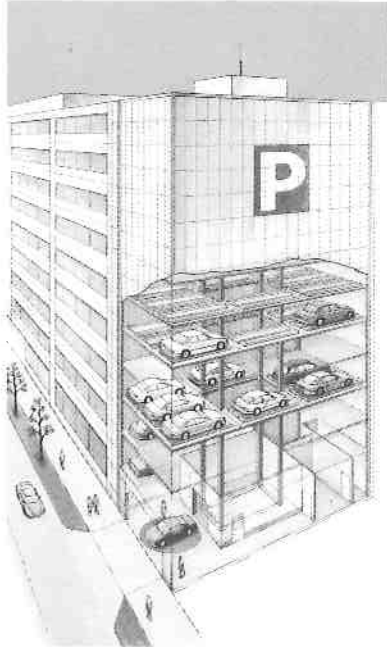
20, Place de la Republique 80800 CORBIE FRANCE tel. 22-48-22-25

三菱重工

新製品

# まさに 高効率駐車

高さ31m・7台×13層で91台。しかも高速入出庫。



- 前面空地不要。間口7.8m×奥行17.5mの土地をフル活用
- エレベータをとり囲む7台分の駐車スペース(2層より上)
- エレベータで昇降、パズル方式で駐車。入出庫は同時進行
- 昇降120m/分、水平搬送60m/分の高速で素早い入出庫
- 低圧受電で電気料金が割安。電気取扱主任技術者が不要
- 1人で、エレベータ方式3基分に相当する管理ができる
- CO<sub>2</sub>ポンプ室・電気室など、必要設備をすべて塔内に収納

エレベータ+パズル方式(特許申請中)

## 三菱グリッドパーク

三菱重工業株式会社

本社 パーキングシステム部 東京都千代田区丸の内2-5-1 〒100 ☎(03)3212-9157~61

中国支社 鉄構二課 広島市中区大手町2丁目11-10 〒730 ☎(082)248-5185  
(NHK広島放送センタービル)

本気なら、  
アシックス。



品名 スカイハンド® ジャパンα-L  
品番 THH710 メーカー希望小売価格 ¥17,500  
カラー/●ホワイト×◎マリンブルー・レッド  
●ホワイト×◎レッド・マリンブルー  
サイズ/22.5~29.0cm

ニッポンを強くする  
2つのジャパン。

なによりもスピードが要求されるハンドボールには、  
屈曲性に優れ、滑りにくいスパイラルソールを。  
さらに、着地衝撃を和らげるαGELなどを  
共通仕様にしたジャパンα-Lとα-S。  
この2つのジャパンがニッポンを強くする。



品名 スカイハンド® ジャパンα-S  
品番 THH711 メーカー希望小売価格 ¥16,500  
カラー/●ホワイト×◎マリンブルー  
●ホワイト×◎マリンブルー・レッド  
サイズ/22.5~29.0cm

asics

株式会社 アシックス

●表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。●®は®アシックスの登録商標です。●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックスお客様相談室までどうぞ。  
〒650 神戸市中央区港島中町1丁目1番1 TEL (078)303-2233(専用) 〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL (03)3624-1814(専用)・(03)3624-2221(大代表)

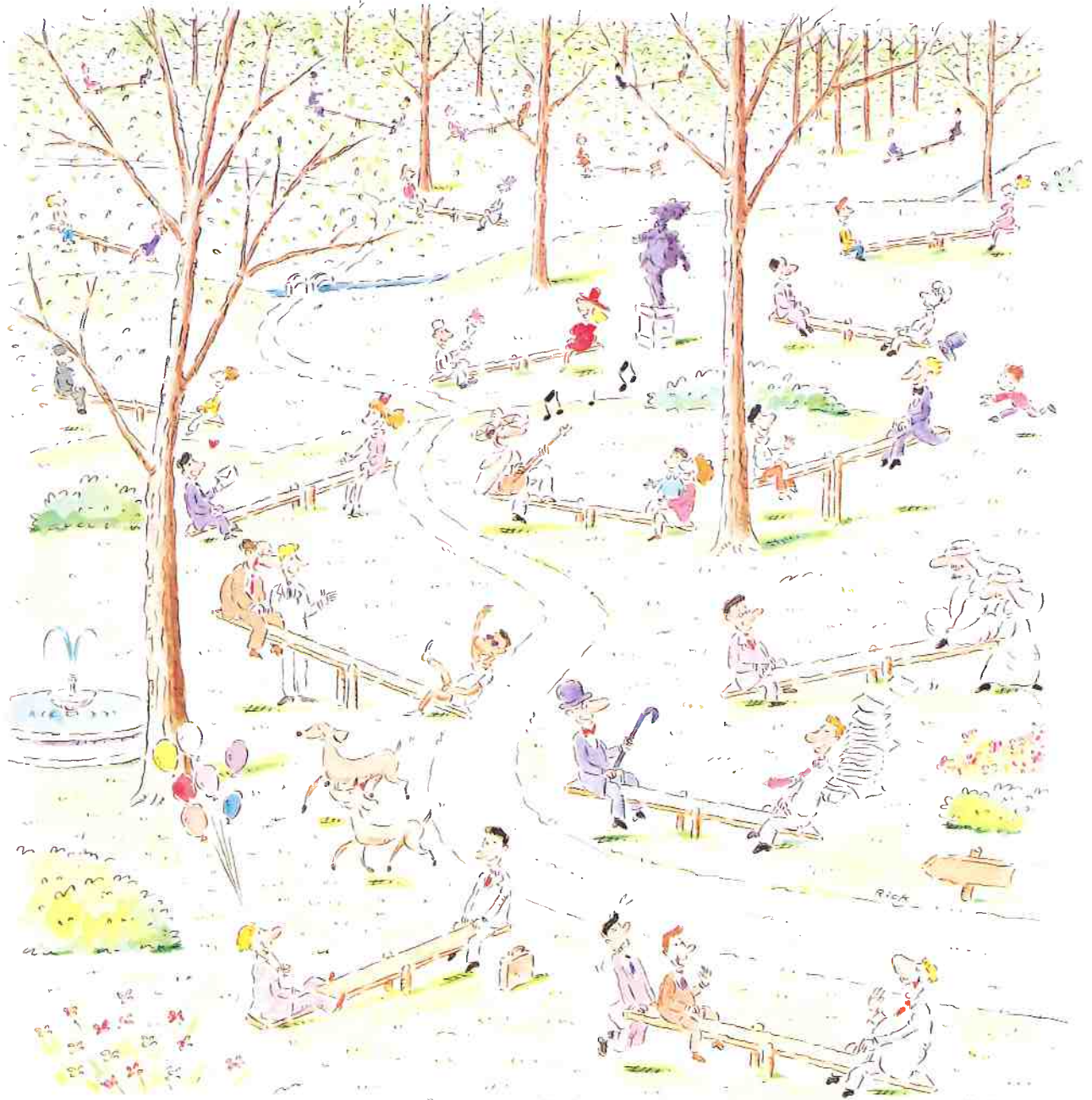
昭和四十年六月七日  
第三種郵便物認可

平成八年七月二十六日 印刷  
平成八年八月一日 発行

東京都渋谷区神南1-1-1  
電話 代表 三四八一-1136  
振替 〇〇二二〇七 〇二九三

編集兼  
発行人 中澤重夫

定価三五〇円



## Global Partners

いっしょだから、できることがあります。

人と人が互いに力を合わせたとき、そこには、  
ひとりでは生み出すことのできないパワーが生まれます。

ITOCHUは、国際総合企業としての視野に立ち、  
さまざまな国々、人々といっしょに豊かさを見つめつける、  
世界のグローバル パートナーでありたいと願っています。

豊かさを担う責任。

### 伊藤忠商事